

松尾清晴オートバイ夢ひとり旅・地球走行中
すべての訪問国&記録写真一覧表

Matsuo kiyoharu motorcycle solitary travel
Visit country & record photograph table



実際に走った国の順番

訪問 112カ国・5年10ヵ月・28万km
(2000年10月～2011年9月)
青色→オートバイで走った国(102カ国)
茶色→オートバイなし訪問国(10カ国)



アフガニスタンとパキスタン国境

オートバイで走った国は102カ国(オートバイなし10カ国=トータル112カ国)ですがその一つの国に違ったところから入ったり出たりしたので陸路国境越え148カ所になりました。

旅の期間
2000・10
↓
2011・9

Photograph in order country of country that actually visited. 2000/10～2011/9

Travel of five years and 10 months, 112 countries, and 280,000km running motorcycles
Blue Collar →Motorcycle (102 country)
Brown Collar →NO Motor bike (10 country)



突然象の横断にびっくりボツワナ
Africa Botswana

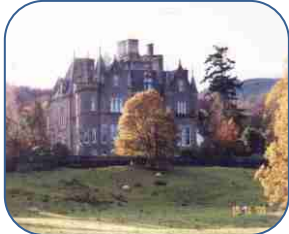
Countries that ran the motorcycle are 102 countries. 111 countries of nine countries of motorcycle none

It entered, it went out, and it became the land route border excess 148 places because it had differed in one country.

日本出発 2000年10月9日

2000
10/9

JAPAN Touring Start 9/10/2000

1	マレーシア MALAYSIA 2000 10/10 10/12 ○日本からマレーシア・クアラルンプールを経由してオートバイの出発地オランダ・アムステルダムに向かう。 ○言葉も、道もわからずはたして走ることが出来るのだろうか不安がつのる ○しかし自由になれる気持ちの方が強くうれしかった。	MALAYSIA kuala lumpur 
2	オランダ NETHERLANDS 10/13 11/4 ○日本からオランダ空港からアムステルダム中央駅に着いた。 ○ユースホテルに向かって歩いた。 ○うしろを歩く中年の男に道を聞く。 ○男はビスケットをくれた。 ○気づいたのは病院のベッドの上だった。 ○強力なマリファナ睡眠薬入りのビスケットだった。 ○残っていた1万5千円盗られていた。 ○パスポート・銀行カードは大丈夫だった。 ○病院で心電図に使うものみたいなものをくっつけられていたことを知る ○病院代のお金を払ったのか覚えてない 「ありがとう」は言ったと思う。おそらく？	NETHERLANDS・Amsterdam アムステルダム中央駅   日本から着いたその日の朝マリファナ睡眠薬入りビスケットをもらって食べて気づいたら病院のベッドだった。一万五千元盗られていた Cookie burglar with sleeping medicine marihuana
3	ベルギー BELGUM 11/4 11/8 ○ロッテルダムの港からオートバイを受け取った ○走り始める日が近づいてきたロッテルダムでの夜は不安で不安で眠れない日が続いた。 ○首都ブルッセルのユースホテルは満杯で泊まれずヘント(ケントに聞こえる)のユースに泊まった。 ○石畳と路面電車が多く走っていてレールで滑らないように注意して走った。 ○女性お巡りさんがいた一通に二回入り込んで「ライセンス」「持っているか」と言われた。	BELGUM・Gent 石畳の多いケント市内 
4	フランス FRANCE 11/8 ドーバー海峡の港カレ(Calais)をめざし通過	It only passed.
5	イギリス ENGLAND 11/8 11/19 ○ドーバー海峡トンネルは走って渡れると思っていたが違った。 ○すべて列車で運んでいた。 ○トラックは別のホームの貨車に載せていた○マイカーといっしょに運ぶオートバイはこの時一台だけ。 ○30分ぐらいでイングランドに着いた。 ○料金は忘れた。 ○スコットランドに行くのに高速の道が見つからずM25を走り続けて元に戻ってしまった。 ○雪になるのでは不安になりすぐにスコットランド・ウラプールからすぐに引き返した。	ENGLAND The Strait of Dover tunnel transports by train. ドーバー海峡のトンネルの列車の中  グラスゴウのユースホテル 

6	フランス FRANCE ○イギリスからパリに夜着いた。クリシイに一軒あるそのユースホステルを聞いて聴いて探しあてた。いや—自分でも不思議に思った。 ○パリ市内を走るのが恐くて4、5日たって気持ちが落ち着いてから走り始めた。 ○凱旋門が目の前に見えた時おー「凱旋門だー」オートバイでほんとに来てしまったと感動した。 ○凱旋門から12本放射線に道は伸びていた ○ぐるぐるまわる凱旋門から自分の進む道には意外とスムーズに入ることができた。	2000 11/19 12/6	FRANCE・Paris 凱旋門とエッフェル塔
7	スペイン SPAIN ○フランスから西の方のピレネー山脈を越えてマドリッドへ。 ○スペインの道はこれまでの道と比べて道路のつながりなど大まかな造りの感じでゴトゴトとハンドルに伝わる。 ○ユースホステルは大きな公園の中にあった。 ○そこへの入り口がわからず最後は一通の出口からはいった。 ○おまわりさんに道を聞くと「ジャパニーズ・オンリ」と言ったら「スパニッシュオンリイ」とおまわりさん笑って道を教えてくれた。 ○道路は問題なし	12/6 12/12	SPAIN・Madrid 西南の地ラ・コルーシャのレスラン & ホテルのみなさんと地元の人たち フランスからスペイン・マドリッド
8	ポルトガル PORTUGUESE ○ラ・コルーシャに行く時192kmの自己最高スピードを出した、50kmを17分で走った。 ○ベアリングがつぶれていたことがタイヤ交換の時わかって「ぞーっ」とした。 ○それからはスピードは出さないと自分に誓った。 ○スペインの西北ラ・コルーシャから高速道路ポルトガル方面をめざし何回も挑戦した。 ○とうとうその道に乗ることが出来ず田舎道で進むことにした。 ○そこではEU国境の標識をはじめて見る事が出来た。	12/12 12/20	PORTUGUESE スペインとポルトガル国境
9	スペイン SPAIN ○スペインの南にきた。 ○セビリヤ市内で写真を現像してはじめて郵便局から日本に送った。 ○雨の市もあったのだろうがなんかうす暗い建物だったな。 ○無事に日本に着いてくれ—い。 ○(写真) 走っていたら突然闘牛士の看板が出てきた、さすがスペインだ。	12/20 12/24	SPAIN スペインらしい牛の看板はおおきい

ヨーロッパ・中東・東欧・北欧 Europe MiddleEast EasternEurope NorthernEurope



スタート

オランダ→ベルギー→イングランド→フランス→スペイン→モロッコ→スペイン→アンドラ→フランス→モナコ→イタリア→ギリシャ→トルコ→シリア→ヨルダン→エジプト→イスラエル→ギリシャ→ブルガリア→マケドニア→アルバニア→モンテネグロ→クロアチア

→ボスニアヘルツェゴビナ→クロアチア→ユーゴスラビア→ルーマニア→ウクライナ→ハンガリー→スロベニア→イタリア→オーストリア→スロバキア→ポーランド→リトアニア→ラトビア→モスクワ→エストニア→フィンランド→ノルウェー→スウェーデン→ノルウェー

スウェーデン→デンマーク→ドイツ→オランダ→ベルギー→ルクセンブルグ→ドイツ→チェコ→ドイツ→オーストリア→リヒテンシュタイン→イタリア→スイス→フランス→ベルギー→オランダ

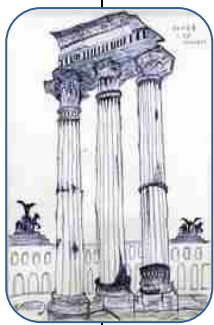
Start (Europe)

Netherlands → Belgium → England → France → Spain → Morocco → Spain → Andorra → France → Monaco → Italy → Greece → Turkey → Syria → Jordan → Egypt → Israel → Greece → Bulgaria → Macedonia → Albania → Montenegro → Croatia → [Bosnia Herzegovina] → Croatia

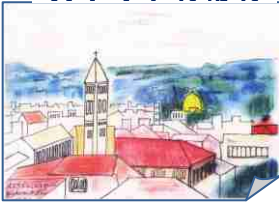
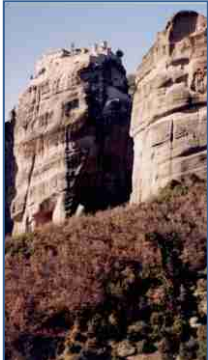
→ Yugoslavia → Romania → Ukraine → Hungary → Slovenia → Italy → Austria → Slovakia → Poland → Lithuania → Latvia → Moscow → Estonia → Finland → [Norway] → Sweden → [Norway] Sweden → Denmark → Germany → Netherlands → Belgium → Luxembourg → Germany → Czech

Republic → Germany → Austria → Liechtenstein and Italy → Switzerland → France → Belgian the Netherlands

10	モロッコ MOROCCO ○アフリカと聞いただけで恐いと頭にある日本でのイメージ。 ○フランスユースで会ったモロッコ人青年は「道はまったく問題ない」と教えてくれたことを思い出した。 ○ここまで来たのだからモロッコまで行ってみよう。本格的な国境での手続きは緊張した。○指南役の二人に頼んで1時間ぐらいかかったろうか。 ○終わって「アフリカを走る」と気持ちの中でみんなに自慢したかった。 ○(写真)はじめてアフリカに着いたカサブランカ市内	2000 12/24 12/25	MOROCCO・Casablanca カサブランカ市内 
11	スペイン SPAIN ○モロッコから戻ったすぐの地中海の見える海岸に泊まる ○年賀状を書き日本に出す。 ○東海岸を北に走る。 ○スペインの正月は静かだった ○一階が飲み屋？レストラン二階以上は宿になっている。わたしには持ってこいでうれしい。 ○シティバンクでフランスに次いでここでもATMにのみ込まれた。 ○ここは外人観光客が多い ○ピレネー山脈の山の中にある国アンドラに向かう。	2000 12/25 2001 1/4	SPAIN・Barcelona  ガルディ建築・バルセロナ市内
12	アンドラ ANDORRA ○人口6万人ぐらいの国アンドラ ○免税の国とかでヨーロッパの人が買い物に来ると聞いた ○山の谷あいでの日本の温泉風景 ○ピレネー山脈を越える時雪の中を走るとは思っていなかった。 ○途中から吹雪になってきた ○峠は両サイドスキー場になっていた ○くだる時転んで病院行きを覚悟 ○峠を越えるとフランス国境だった ○両足をついてソロソロ走り転ばなくてすんだ ○里に降りた時心も体もがちがちになってしばらく震えがとまらなかった。	1/4 1/8	ANDORRA  アンドラ市内  ピレネー山脈を吹雪の中越えるこわかった
13	フランス FRANCE ○吹雪のピレネー山脈を下りて太陽に中を走る ○ブドウ畑を見ながら田舎道を走る ○カルカソンヌにつく ○二重城壁の中は郵便局やお店などありいまでも暮らしていた。 ○ユースホステルは休業中 ○城内の高かったホテルに泊まった	1/8 1/9	FRANCE・Carcassonne モンサンミッシェル 二重城壁のカルカソンヌ旧跡  
14	モナコ MONACO	2001	MONACO

	○フランスから高速に乗って走る ○展望台みたいな高台で休憩した ○展望台の下に見える街はきれいな町と地元の人らしいひとが指さしておしえてくれた。 ○この美しい町は「モナコ」とは気付かなかった(あとで国であることを知った)	1/9	 いずれもモナコを走る 
15	イタリア ITALY ○喰いたかった本場の赤いスパゲティは延びたラーメンみたい,期待していたのにがっかり ○ホテルからすぐ高速を走るつもりだった ○しかし同じところに舞い戻ってしまう ○見かねたおまわりさんが誘導してくれた ○前も見えないほどの霧の山の中を30分以上引っ張ってくれた。ありがとう ○山の田舎道を走りお昼間前によく高速に乗れた ○どうしてこんなに走らなければ高速に乗れないのだろうか不思議だった。	1/9~	ITALY・Roma  ふるさと佐賀・同じ嬉野出身のMさんとぼったり  イタリアのへそにあたる場所
16	バチカン市国 VATICAN	1/12~	バチカンが国であることをあとで知った,はずかしい
17	イタリア ITALY ○ローマでなぜかスケッチしたくなった ○人気の一番高いと言われるフェレンツから南に走る ○ナポリ駅前の小さい食堂で今までわたしには期待外れだった赤色スパティによくめぐりあった。喰った。うまかった。 ○イタリア半島のつま先にあたる岬は地元の人たちのゆったりした雰囲気があった。 ○シシリ島に渡りエトナ山バックにジャガイモを収穫している農家の人には見えないなー ○イタリアのかかとにあたるサンタマリア・ディレウカ岬にまで行ってみた。 ○ギリシャにフェリーで渡るオートバイ含めて8700円と安かった	2001 1/30	ITALY・Sicily シシリ島エトナ山のふもとでジャガイモ収穫  
18	ギリシャ GREEC ○イタリアのかかとにあたるちょっと北の港から船でギリシャに渡る ○ギリシャ・アテネの町の真ん中にある遺跡などどうして造り上げたのか不思議感じた。 ○肉魚・中央市場では自分で買ったものを食べれる食堂は気にいった。 ○オリンピックの発祥地オリンピアの聖火の採火場。競技場は学校の校庭みたいだった。 ○写真(上)古代陸上競技場 (下)聖火の採火場神殿	1/31 2/8	GREEC・Olympia オリンピア 古代競技場   ← 聖火の採火台
19	トルコ TURKEY	2001	TURKEY

	○イスタンブルで着いたとたんいきなり別のホテルをユースホテルとだまそうとした ○お金の単位は8ケタ→一千万。お釣りももらう時、計算できなかった ○コンヤ、カッパドキア、アダナ、バットマンなどおもしろい地名に笑う ○イランに向かって走っていた、峠の雪で滑って転んだ ○恐くなってアンカラまで 1000km 戻って暖かいシリア、ヨルダンのビザをとりなおした。 ○トルコの地方からシリアに入ろうとしたがビザがなかったのでダメだった(写真)	2/8 3/3	貨物の向こう側はシリア。(地方のトルコ国境)   イランに向かって雪の中は恐か
20	シリア SYRIAN ○最近まで中近東と言っていたけどここにきて中東と呼ぶようになった。どうしてだろう。 ○シリアと聞いただけで何かこわいイメージをわたしは持っていた ○ドキドキしながら首都アレッポに着いた。 ○オートバイといっしょに走りながら「あめ玉」をくれた ○皆さんは人なつこいひとばかりだった ○レストランの奥ではビールを飲ませてくれた ○入国にけっこう待たされて2時間ぐらいかかった ○ゴラン高原を右に見ながら ヨルダンに走る ○シリアは「スリエ」と地元の人の発音だった	3/3 3/5	SYRIAN・Aleppo Border 国境の写真普通はダメだがめずらしくここでは係官もいっしょに撮らせてくれた。(シリア側) 
21	ヨルダン JORDAN ○シリアからヨルダンに向かっていたがレバノンに向かって走っていた ○アンマンのホテルはレストラン1階ホテルは2階以上で出前を毎日してもらった ○ホテルからアルコール売店まで毎日通う ○ジャラシ遺跡とペトラ遺跡を見に行った。 ○砂漠の真ん中でエンストした ○地元の人がトラックで運んでくれたのでたすかった ○ヨルダン・アカバ港からエジプト・ヌエーバ港までフェリー船で渡る ○フェリー船は約5時間ぐらいでエジプトに着いた ○船の上からみる砂漠の岩山は不気味に感じた	2001 3/5 3/12	JORDAN ジャラシ遺跡  砂漠の真ん中でエンスト  ペトラ遺跡・帰国して世界遺産と知る 
22	エジプト EGYPT ○砂漠にきたことで恐くて気持ちがおだやかではなくなった ○着いた次の朝ものすごい煙みたいな砂嵐 ○ピラミッドを目にしてオートバイでほんとうにとうとう来てしまったとふるえる感動をえた ○スエズ運河のトンネルをくぐった ○アブシンベル行きはゲリラ対策とかでバスなど3, 40台各ホテルから朝4時に集合して一斉に出発 ○スエズ運河の船は見下ろすように堀の中を運航していると思っていたので驚いた	3/12 3/28	EGYPT ピラミッド   陸を走るタンカーにびっくりしたスエズ運河

23	イスラエル ISRAEL ○エジプトから入国する時1日半かかった ○入国したとたん砂漠から緑の畑に変わったのであーよかったー。ほっとした。 ○エルサレム城壁内のホテル屋上に部屋を取った。いごごちがよかった。 ○4大宗教のある聖地を毎日屋上から眺めていた(絵画写真) ○ハイファの町から時計回りにぐるっとイスラエルを一周した ○一度はやってみたかった麦畑に乗り入れてビールはうまかった。 ○フェリーでギリシャに向かう	2001 3/28 4/9	ISRAEL 四大宗教のあるエルサレム城内をスケッチしました  だれもおぼれない死海で泳  麦畑に乗り入れて休憩 
24	キプロス (オートバイなし) CYPRUS ○イスラエルからフェリ船でギリシャに向かう ○キプロスに寄港した時郵便局まで歩いて行きめずらしい切手を買った ○ゆっくりしてみたい国,だけどできなかった	4/9	It is not a motorcycle. CYPRUS キプロス島 
25	ギリシャ GREECE ○イスラエルからのフェリー船はキプロス・サントリエとか4カ所ぐらいの島に寄港した ○「 그리스」の船内放送はギリシャのことでもう少しで乗り越すところだった ○再び3か月ぶりにギリシャにつく ○デルフェイ遺跡・メオトラ遺跡、高い岩の上メオトラには今も住んでいると聞きおどろく ○ブルガリアに向かう途中のいくつかの峠は霜が降りていてこわかった	4/9 4/15	石を輪切りにして柱にしているのだろうか GREECE 高い岩の上に今も住んでいるメオトラ遺跡  デルフィ遺跡  
26	ブルガリア BULGARIA ○雪を避けるため時期をさけたつもりが入国した日に雪になった ○首都ソフィアのホテルは高かった。10kmぐらいの郊外に安宿を見つけた ○暖炉付き食堂と併設のホテルは最高によかった ○10LVリブ=600円と街のホテルの10分の1 ○ソフィアから黒海に向かいぐるっと一回り ○帰りに近道しようとしたら山の中にはいつてしまった ○黒海の魚、白身のフライはビールのつまみにうまかった、量が多すぎてもったいなかった。	4/15 4/22	BULGARIA・Sofia  暖炉付食堂兼ホテル 最初鶴なのかと思ったスズメも出入りしているはじめて見る大きな巣。帰国したらコウノトリとおそわった 

27	マケドニア MACEDONIA ○ブルガリアからマケドニアに入る道がわからない地元の人に途中まで引っ張ってもらった ○首都スコピエの中央駅は日本の中都市 ○ギリシャに次いで二回目歯医者で奥歯を抜く ○「100%×」と書いて100%抜いちゃダメのつもりだったが通訳を連れてきて100%抜かなきゃダメ ○東欧には毎年訪れているとゆうめずらしい日本人女性に会った。	2001 4/22 4/24	MACEDONIA Skopje スコピエ中央駅  スコピエユースホステル 
28	アルバニア ALBANIA ○マケドニアとアルバニアの国境は山の峠にあった。 ○道はマフラーが使えるデコボコ・街に入ると水たまりもあり歩道に乗り上げて走った ○街でホテルを探そうとしたがイヤな雰囲気を感じ次のホテルを探した ○両サイドに村が見えるアルプスの稜線を走っているめずらしい国道だった。	4/24 4/25	ALBANIA  山の頂上あたりが国境だった 右・左村を見ながら山の稜線をはしる 
29	モンテネグロ MONTENEGRO ○国境であなたの国はどこだと聞いた ○わたしの持ってきた地図にユーゴスラアに国境線を引いて「ここ」「モンテネグロ」だ ○独立したばかりの国だったので知らなかった。このあとしばらくして国連で承認されたようだ ○高原の上にあるようなめずらしい町は何泊かしたかった ○お金がなくて「ATM」でだめで銀行窓口でようやく現金を手にした ○写真を撮ろうとしたらポリスがきた、子どもたちはフォトフォトと合唱して追い返した	4/25 4/26	MONTENEGRO  学校の近くで元気な子どもたち 独立したばかりのモンテネグロ証明？書 
30	クロアチア CROATIA ○モンテネグロからづーっと山の中を走る ○山の上から明るいオレンジ色の街並みが見えた ○きれいな街だと道なりに下りて見た ○透きとおってきれいな海だった ○あとでドブロブニクの町が世界遺産と知った	4/26 4/28	CROATIA Dubrovnik 世界遺産ドブロブニク 

こまったこと

小便器の位置が高すぎてこまった。つま先上げてようやくできるかどうか。バイク用のズボンをはいてるからよけにやりにくい。子供用はないのかな。車いす、障害者用の設備はあるのに一と思う。(ヨーロッパ)

ユースホステルの泊まりの人々

ドミトリ(相部屋)は3人から12人部屋で6人8人部屋が一番多いかな。世界の若い人や年寄りが同じ部屋に泊まることになる。シーツは借りる。匂いのある部屋、静かな部屋、昼寝てる人、夜遅く帰ってくる人、朝早く出て行く人などさまざま

ユースホステルで「感心したこと」

ドイツの青年は夜遅く帰ってきたとき部屋の外の「廊下で着替えて」「スーツ」とベッドに入るだけで部屋の人たちに迷惑をかけない。朝早く出て行くときも荷物を部屋から出して「廊下で着替えて」出ていく心づかいには感心した。使い終わったシーツや毛布は四隅をそろえてきちんとたたんでいた。へーこんな風にするんだとベッドの上から見て感心する。さすがユースホステル発祥の地出身だ。

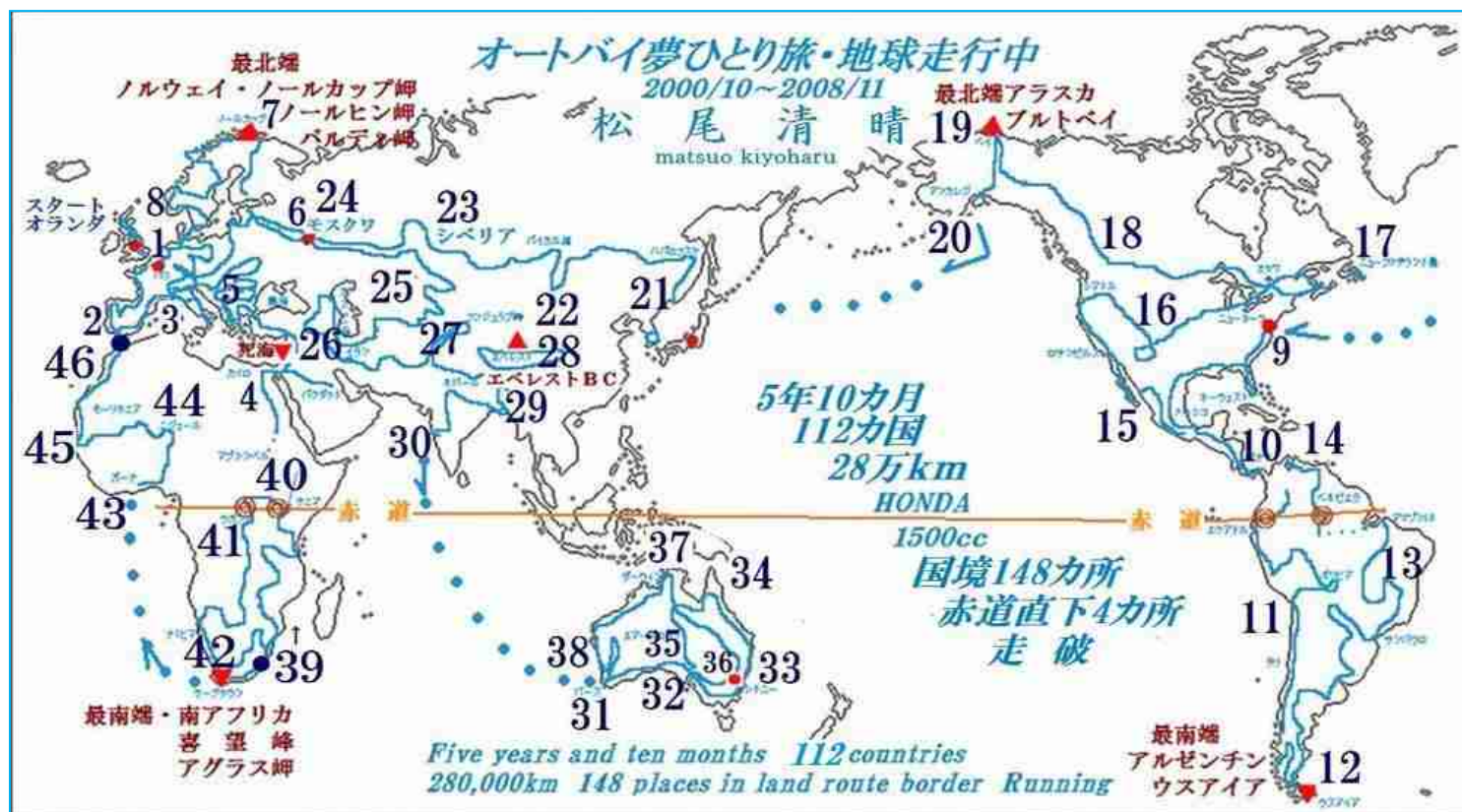
ユースホステル「ひんしゆくをかう人びと」①

夜中に旅行バックのチャックを開けたり閉めたり、ビニール袋を開けたり閉めたりカシャカシャ音を出す、この音は夜は金属音に聞こえる。深夜でも仲間がいると話を続ける人。出かける前に済ませておけばいいのに深夜に帰ってきてからごそごそシーツを敷く日本人が目立つ。わたしも最初はそうだった。

ユースホステル「ひんしゆくをかう日本人」②

小さくパックしてある朝食用のバター、ジャム、そして果物などごっそりと持って行くのですぐになくなってしまう。あるユースホステルでは日本人がくると自由に取れるところからさーっと引き上げて日本人には一個ずつ渡していた。

番号は走った国の順番



3 1	ボスニア、ヘルツゴビナ BOSNIA HERZGOVINA ○クロアチアから川沿いに北に向かって走る ○屋根のない家があっち、こっちに出てきた ○壁には無数の銃弾痕跡（写真左） ○首都サラエボのビルの黒こげに焼けたまま内戦のすざましい傷跡が残っていた（写真右）	2001 4/28 4/30	BOSNIA HERZGOVINA 屋根が飛ばされて壁には無数の銃弾のあと  黒陰になったまま高層ビルは残っていた 
3 2	クロアチア CROATIA ○ユーゴスラビアに入るつもりが道を間違え またもやクロアチアに入ってしまった ○戻る気力なしそのままホテルを探して泊まる ○次の朝「今日は休み」の張り紙、きょうは世界中メーデーだった ○オートバイで走りまわっている自分にうしろめたさを感じる	4/30 5/1	CROATIA ベオグラード目ざして田舎道を走る 
3 3	ユーゴスラビア YUGOSLAVIA ○クロアチアから田舎道を走りベオグラードに向かって走る ○ユースホステルはやっていなくて地元の人が近くのホテルを案内してくれた ○部屋は別々のロッジ風の宿で高台にあった ○高台の展望台からはベオグラード市内を一望できる場所だった	5/1 5/3	YUGOSLAVIA・Belgrade ベオグラード市  砲弾の跡が生々しく残っていたベオグラード市内 
3 4	ルーマニア ROMANIA ○だいぶ高い山の中を走って道路脇には直径1m以上ある鉄管のパイプラインが敷かれていた ○ソビエト時代の名残りだろうか ○元職場の後輩が大使館に書記官としてきてオートバイで来たことにおどろいていた ○黒海に近い「どこかの市」でTV取材を受ける ○ウクライナ国境まで道路の工事、工事でまいった ○車と馬車は半々ぐらいに走って気持ちの豊かさを感じる風景	5/3 5/10	ROMANIA めずらしい馬車が走っていたので撮らせてもらった  どこかの市でTV取材を市庁舎で受けるアンバランスの近く 

35	ウクライナ UKRAINE ○ずっと前に首都キエフはきれいな街と聞いていたので楽しみだった ○到着が夜中になってホテル二軒に断られる外人の宿泊を嫌がっているようだった ○しょうがない 7000 円と高いホテルに泊まる ○朝フロントに行くと「OK」とパスポートを帰ってきたお金は払わなくていいのかな？ ○新緑の林ウクライナはきれい	2001 5/10 5/12	UKRAINE・Kiev ほうき、干し肉、サウナで使う樹の葉っぱ道ばたで売っている   きれいな街 キエフ市内
36	ハンガリー HUNGARY ○ブタペスト市内や郊外に大きな露天風呂におどろいた ○世界一美しいと言われる国会議事堂外から見るとほんとにきれいだった	5/12 5/18	HUNGARY・Budapest  国会議事堂ブタペスト市内 どでかいこの露天風呂には日本人もおったまげるぞ 
37	クロアチア CROATIA ○めずらしいオレンジの瓦できれいな町だとオートバイを停めた ○写真におさめて戻ると若い女性がわっと出てきた ○美容院で働く女性だった。クロアチアは美人が多い	5/18 5/19	CROATIA  若い女性が美容院から「ワッ」と
38	スロベニア SLOVENIA ○ユースホステルは休業中。 ○泊まりたかったがとなりのホテルは高すぎる ○素通りした国は初めてになった。(モナコは国と知らなくて通過した)	5/19	SLOVENIA スロベニアを走行 

ヨーロッパ・中東・東欧・北欧 Europe MiddleEast Eastern Europe NorthernEurope



スタート（ヨーロッパ編）

オランダ→ベルギー→イングランド→フランス→スペイン→モロッコ→スペイン→アンドラ→フランス→モナコ→イタリア→ギリシャ→トルコ→シリア→ヨルダン→エジプト→イスラエル→ギリシャ→ブルガリア→マケドニア→アルバニア→モンテネグロ→クロアチア

→ボスニアヘルツェゴビナ→クロアチア→ユーゴスラビア→ルーマニア→ウクライナ→ハンガリー→スロベニア→イタリア→オーストリア→スロバキア→ポーランド→リトアニア→ラトビア→モスクワ→エストニア→フィンランド→ノルウェー→スウェーデン→ノルウェー

スウェーデン→デンマーク→ドイツ→オランダ→ベルギー→ルクセンブルグ→ドイツ→チェコ→ドイツ→オーストリア→リヒテンシュタイン→イタリア→スイス→フランス→ベルギー→オランダ

Start (EURO)

Netherlands → Belgium → England → France → Spain → Morocco → Spain → Andorra → France → Monaco → Italy → Greece → Turkey → Syria → Jordan → Egypt → Israel → Greece → Bulgaria → Macedonia → Albania → Montenegro → Croatia → [Bosnia Herzegovina] → Croatia → Yugoslavia → Romania → Ukraine → Hungary → Slovenia → Italy → Austria → Slovakia → Poland → Lithuania

→ Latvia → Moscow → Estonia → Finland → [Norway] → Sweden → [Norway] Sweden → Denmark → Germany → Netherlands → Belgium → Luxembourg → Germany → Czech Republic → Germany → Austria → Liechtenstein and Italy → Switzerland → France →

39	イタリア ITALY ○再びイタリアに入る ○ベニチアから ○ピサの斜塔 ○フェレンツに泊まり ○オーストリアに向かう	2001 5/19 5/23	ITALY Venice いづれもベニス
40	オーストリア AUSTRIA ○インスブルックに泊まり ○ウィンに向かう同じオートバイ仲間がホテルまで迎えに来てくれて ○市内を走ったあとビアガーデンで交流会 ○ビールはジョッキーひとり2杯までのようだった、わたしは4杯飲んでしまった。 ○あとで気づいた。	5/23 6/1	AUSTRIA・Win ビアガーデンでかんぱーい
41	スロバキア SLOVAKIA ○間違っってハンガリに入ってしまう近くに国境がありそうなのでそのまま走る ○スロバキアのユーチェは閉鎖、普通のホテルに変わっていた ○安いホテルの裏にサッカーグラウンドがあった ○途中郵便局で切手を買う	6/1 6/2	SLOVAKIA ワラの積み方が日本と違っておもしろ
42	ポーランド POLAND ○ワルシャワの日本大使館で日本から送ってもらった小包を受け取る。自宅からと中学校の同級生からの二個の荷物。大使館員さんありがとう ○これ以降今個人の荷物は大使館では預からない ○めずらしい結婚式に出会いあわててオートバイをとめて写真を撮らせてもらった	6/2 6/7	POLAND めずらしい結婚式に出会っ

4 3	リトアニア LITHUANIA ○ユースホステルはわかりにくい場所で苦労した ○ラトビアのビザはいらないとラトビア大使館で言われてへー「ラッキー」 ○走り始めて日本人ライダーとユースホステルであった ○日本人ライダー〇さんはシベリア経由で日本に帰ると話す、すごいもんだ。	2001 6/7 6/10	LITHUANIA  ユースホステルはわかりにくい場所だった  晩飯のビールのつまみに缶詰を買う
4 4	ラトビア LATVIA ○首都リガ中央駅前ホテル3600円に泊まる ○ホテルの4階に泊まる。一階はお店二階は会社の事務所になっている ○二階にツーリスがあってロシアビザOKと聞く ○ふつうは5日間かかるが速いエクスプレスのは二日で発給32L=6000円を頼む ○10時過ぎても暗くならない夜にどぎまぎ ○これが白夜なのか	6/10 6/14	LATVIA ・Riga 泊まったホテルから朝の通勤・リガ 
4 5	ロシアモスクワ RUSSIAN・MOSCOW ○とうとう来たモスクワ。お巡りさんがいないうちに赤の広場に乗り入れる ○道に停まっていたらベンツ、オートバイが停まって安いホテルまで引っ張ってくれた ○モスクワ大学前の広場に100台ぐらい毎晩集まっていた ○白夜のよる3時ごろまで飲んでオートバイ仲間がホテルまで送ってくれる毎日 ○リーダーみたいな女性ライダーTさんには市内案内・オートバイ修理など2回共お世話になった ○サントペルブルグ(レーニングラード)経由でエストニアに向かう	2001 6/14 6/22	RUSSIAN・MOSCOW  お巡りさんがいないうちに赤の広場に乗り入れた (上) タンニャさんには市内を案内したり、修理工場まで案内してくれたりとお世話にな ライダー雑誌の編集者・タンニャ女士 
4 6	エストニア ESTNIA ○サントペルブルグを出る時赤信号を走って、危うく大事故になるところだった ○首都タリンは静かな街だった ○広島、長崎二回も原爆落とされてどうしてアメリカと仲良く出来るんだとおじさんに言われてはとした ○フェリー船でフィンランド、メルボルンに渡る 高速船35 \$ = 4200円	6/22 6/23	ESTNIA  これからフィンランド・ヘルシンキにフェリー船で渡る  首都タリンに着いたばかり

47	フィンランド FINLAND ○首都ヘルシンキ観光客でにぎわっていた ○北に向う、湖が無数に地図に載っているが森に隠れて湖はそんなには見えなかった ○フィンランドの真ん中あたりに来るとだんだん背の低い針葉林になった ○ノルウェーに近づくに従って道が狭くなった ○ユースホステルは一軒一軒ロッジ風の小屋になっていた(ノルウェー国境付近) ○オーロラの見える時期は忙しいとユースのご主人は話す	2001 6/23 6/28	FINLAND  いかににも北欧風の作りを見ながら北上  行き止りでは手動で動かす船で湖を渡る
48	ノルウェー NORWAY ○白夜で24時間太陽の下寝るのはなれるまで苦労する。白夜は曇りがあるので毎日は見られない ○最北端ノールカップ・その隣ノールヒン岬・そして最北の町バルデなど端々の岬を走る ○走っていてノールヒン岬でこれは地球ではないのではと「ぞくっ」とした ○7月の夏でも真冬の服装6、7枚重ね着した  ノルウェー北の果ての隅々まで走ってみた	6/28 7/14	NORWAY  行き止りバルデ岬 ノールヒン岬の行き止り、自動シャッターをつかう  ノールカップ岬 
49	スウェーデン SWEDEN ○フィンランド・ノルウェー・スウェーデン三国国境地帯まで走った ○三国・国境に国境係官が詰めていた ○スカンジナビア山脈を越えてボスニア湾へ ○ボスニア湾を見ながら再びノルウェーに向かう ○ポケット右にノルウェー左にスウェーデンのお金を入れて走った	7/14 7/15	SWEDEN スカンジナビア山脈を走る。寒かった 
50	ノルウェー NORWAY ○いたるところで行き止りが多くフェリー船で渡る ○花、フィヨルド、雪山、湖と自然の美しさに見とれて先に進めないほどだった ○ベルゲンの夕日もきれいだった	7/15 7/24	NORWAY  自然の美しさで先に進めないノルウェー

51	スウェーデン SWEDEN ○ノルウェイ・ベルゲンから首都オスロ経由でスウェーデン・ストックホルムに着く ○山越えは寒かった ○さくらんぼの季節で船着き場でも売っていたので買った、安くてうまかった	2001 7/24 7/27	SWEDEN ボスニア湾沿いのたしか駅？だと思う 
----	--	-------------------------------	---



どっこいしょ ひと休み どうしたの 一問 一答

○言葉はどうした→野球用語ファースト、セカンド、レフト、ライト、などぐらいの英語しかしかなかった。その国の大使館で取る「ビザ」（入国許可証）とか国境でも日本語だけでOKだった。ほとんど日本語・佐賀嬉野弁をつかった。身体から出る「おしえてほしい気持ち」があれば相手に通じるのだろうか今でも不思議に思っている。

○発見→140カ所余りの国境を言葉は出来なくても日本語・佐賀・嬉野吉田弁で越えられることを発見した。

○お金はどうした①→盗られる事を想定してシティバンク①マスターカード②ビザカード②計5枚。カード2枚はオートバイの中に隠した。睡眠薬入りビスケット強盗意外結果的には強盗にはあわなくて済んだ。②イランでカードを使えなくてとなりの国アゼルバイジャンまで2000km（北海道から九州までの距離）走って現金を手にした。ATM器械がパシャパシャと数える音を聞いて身体がへなへなとなった。

○費用は→泊まって、喰って、呑んで、ガソリン代込み一日×5000円で計画。1か月15万円×月数

○泊まる場所→行き当たりばったりでユースホテル、安宿、テント、時たま個人宅に泊めてもらった。

○オートバイ輸送→たとえば日本～オランダ輸送代8万円+梱包代8万円到着まで約2カ月かかった。

○**治安**→日本でつかんだ情報では中東・中南米・アフリカは危ないと聞いていたが実際は違ってどこの国でもほんとうに親切にしてもらった。自分の目で確かめることの大切さを感じた。しかし盗難にあった人もいる。

○**悪い道**→シベリア、チベット、アラスカ北はほとんどじり道で泣きたくなった。アフリカ・サハラ砂漠では2000km朝から晩まで砂嵐で道が消えて死ぬ思いだった。恐かった。

○**ガソリン**→給油する時、次のスタンドまでの距離を必ず聞いていた。パキスタン南の方はスタンドがなく道ばたで「はかり」売り。質が一番悪かったのはウズベキスタン75オクタンカ、エンジンのかかりが悪くなる。中和剤を入れれば大丈夫だった。南米で80オクタンカ。

○**安い国**→1リッター①番イラク1,4円(2003年)②番イラン6円(2003年)③番ベネゼラ26円(2002年)

○**高い国**→オーストラリア・日本 両国とも1リッター120円ぐらい

○**ガソリンの名前いろいろ**→ガソリン。ガソリーナ。ペトロール。ベンジン。オイル。エッセンス

○**交通事故**→アラスカでキャンピングカーと接触、頭10針、肋骨10本、鎖骨骨折ヘリコプターで入院
インドでトラックの陰から飛び出したオートバイと衝突、肩を痛めた。○○やろうめ今でも腹が立つ。

○**たべもの**→たまねぎ、ジャガイモはどこの国にもあった。ネズミは喰えなかったがコウモリはたべた。

○**水は**→まわりに山がある国では水道水を飲んだ。東アフリカでは意外と緑が多かった。

○**次に進む国のビザ**→手前の国で次に進む国の大使館に行って取る。通過時期を頭に入れてウズベキスタンで7カ国のビザをとったことも。申請書には名前とパスポート以外は「すみません」「わかりません」「よろしくおねがいます」と記入OKだった。国境でとれる国もあるが調べておかないと入国できない。

○**陸路国境越え**→148カ所越えてきた、その国を出るに1時間、次の国に入るのに1時間ぐらいかかった。入国、出国には自分のパスポートとオートバイのパスポート(カルネ→JAFで発行)が必要な国もある(必要ない国もある)

○**トイレに紙がない**→手桶とか、やかんで水を汲み手で洗う。なれるとかえってすっきりし気持ちいい

○**病気は**→ポルトガル、トルコ、メキシコでもうれつな下痢に。メキシコで現地の水と正露丸どっちが勝つかためしたら正露丸が負けた。エジプトと、どこか忘れたが暑い国の天井扇風機で風邪ひいた。

○**ネット事情は**→2000年の走り始め自分はネット出来なかった。走りながら覚えた。今思えばほとんどの国はネットカフェが使えた。日本よりネットカフェの数は多いところばかり、家庭にないからなのかな。ネット屋がないだろうと自分のパソコンを持って行ったアフリカには結構ネット屋があった。

○**保険は**→海外傷害保険・個別に必要なものだけに入った。オートバイの場合は半年1万5千円ぐらい。アラスカでヘリコプターで入院する交通事故、10日間で640万円!保険に入ってた良かった。

○**カメラ・写真**→前半の3年間は一眼レフとコンタクトカメラあとの3年はデジタル一眼レフとデジタルカメラ。現地で現像して日本に送った。後半3年はパソコンを背中にしょって走った。

○**めずらしいたべもの**→①ピラニアの刺身。アマゾンの奥地5人で3匹しか釣れなかった。三枚におろして日本人旅行者が持っていたワサビ醤油で食べたら「タイ」の刺身と同じでこりこりしていやーうまかった(ブラジル)

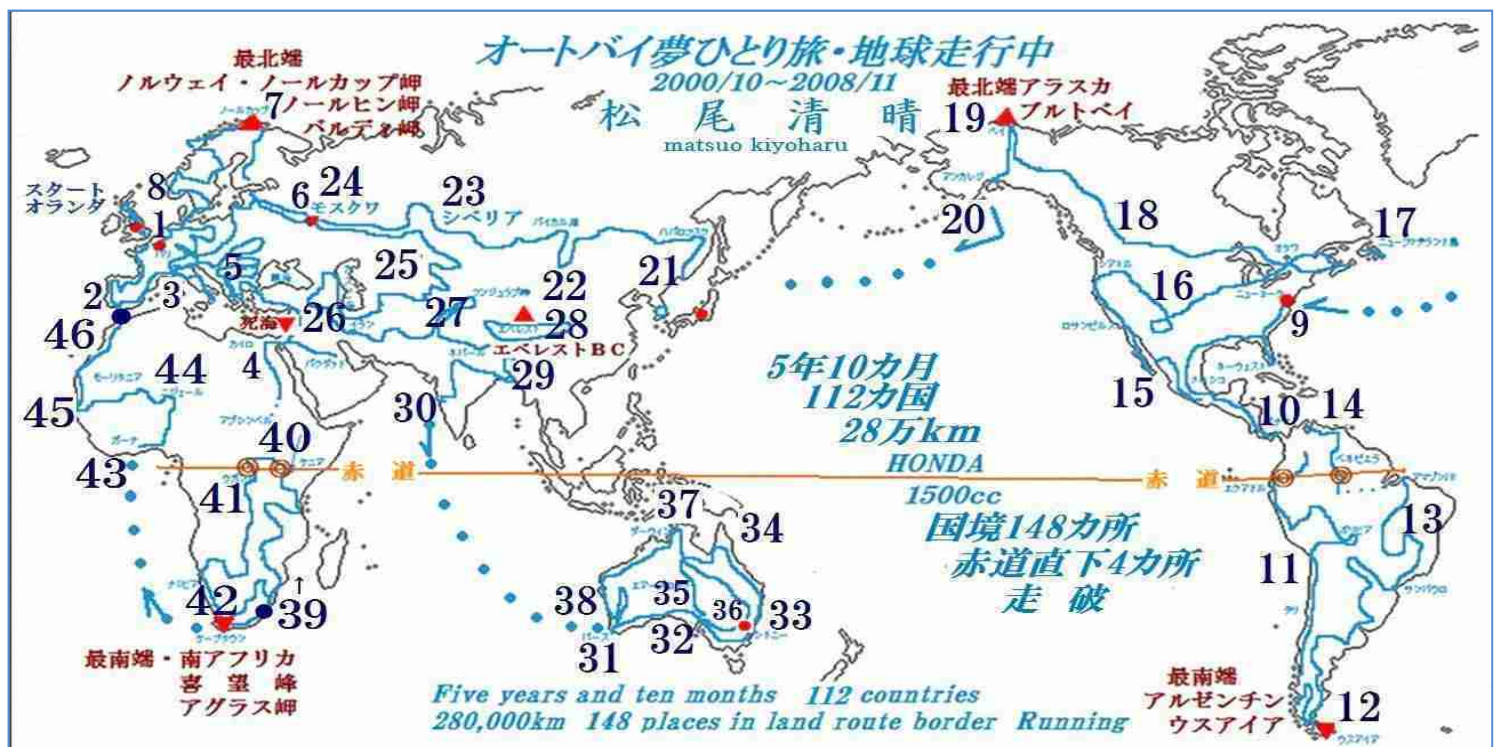
②ザリガニと思って買ってホテルに戻ったら異様に手が長い「コウモリ」だった。鶏肉に似た味だった(アフリカ・マラウイ)

③言葉が出来ないので行く国々で「にわとり」を食べた。イラク・バクダッドのが一番うまかった。

5 2	デンマーク DENMARK ○スウェーデンからデンマークにはフェリー船で渡ると前日までわからなかった ○走り続けたら大きな橋がかかっていたので助かった ○めずらしい日本の農家に似た屋根 	2001 7/27 7/29	DENMARK  人魚姫像はいつでも観光客がいっぱいのようだ 宿がなく農家の内に泊めてもらった 
5 3	ドイツ GERMANY ○デンマークからバルト海リュウゲン島 ○田舎道を走り首都ベルリン	7/29 8/1	GERMANY ブランデン通り 
5 4	オランダ NETHERLANDS ○約10カ月ぶりにオランダに戻ってきた ○これから走っていない残りの国をめざそう	8/1 8/5	NETHERLANDS  周っている風車をはじめて見た
5 5	ルクセンブルグ LUXEMBOURG ○オランダ～ベルギーを抜けてルクセンブルグへ ○ルクセンブルグの入り口がわからないまま山に入りこんでしまった ○聞くにも放牧されている馬や牛ばかりでこまった ○ルクセンブルグは急に落ち込んだ丘陵地帯なのか上り下りが多い ○ユースホステルは急に落ち込んだ場所に建っていた	8/5	LUXEMBOURG  ルクセンブルグ市内 

56	ドイツ GERMANY	8/6 8/7	GERMANY
57	○チェコまで走るつもりが届かずドイツ泊まり チェコ CZECH ○ユースホステルの前遊歩道にオートバイを停めていたら「駐車違反」の切符を切られた ○駐車場のあるホテルは高台にあった ○駐車違反切符 → 	2001 8/7 8/9	CZECH   プラハ市内
58	ドイツ GERMANY	8/9 8/10	GERMANY
59	オーストリア AUSTRIA	8/10	AUSTRIA
60	リヒテンシュタイン LIECHTENSTEIN ○スイスに着いたと思ったところはリヒテンシュタインだった。国であることをここで知った ○国のスタンプを押してくれるオフィスもあった ○切手もめずらしいと言われて買った ○アルプスの少女「ハイジ」の里とわかった ハイジが住んだ家やおじいさんが住む山にも行ってみた ○はだしで歩いている少女を何人か見かけた	8/10 8/15	LIECHTENSTEIN アルプスの少女「ハイジ」の里 周りを山に囲まれたリヒテンシュタイン 
61	スイス SWITZERLAND	8/16 8/17	SWITZERLAND
62	イタリア ITALY	8/17	ITALY Milan
63	スイス SWITZERLAND ○イタリア・ミラノから山間の峠を走り途中国境があった ○ ○マッターホルンからアイガーに走る ○スイスでとりあえず42カ国走ってきた ○ジュネーブ国連前(写真) 	8/17 8/26	SWITZERLAND 宿の隣のひとが練習していた。近いうち日本の大阪へ演奏に行くと話していた 

6 4	フランス FRANCE ○スイスからリヨン経由で再びパリへ ○クリシユース hostel には一年前のアフリカ女性がまだ滞在していた	8/26 9/3	FRANCE Paris  クリシユース hostel のスタッフとユース hostel ビル 
6 5	オランダ NETHERLANDS ○ロッテルダム港からアメリカ・ニューヨークにオートバイを送る手続きをすませる OKLM・格安空港券を購入 アムステルダム・ユースホステル 	2001 9/3 9/6	NETHERLANDS 「アンネの日記」アンネの家 入場を待つ観光客が毎日並んでいた 



数字は走った順番

北アメリカ・カナダ・アラスカ North America Canada Alaskan



スタート 2001/9/6 ニューヨーク→フロリダ→メキシコ→中米→南米・ベネズエラ→メキシコ→
北アメリカ・ロスアンゼルス→サンフランシスコ→シアトル→グランドキャニオン→ラスベガス→
シカゴ→トロント→ニューファンドランド→オタワ→カルガリー→アラスカ→ブルトベイ→アンカレジ
→日本へ

→ Florida of 2001/9/6 start New York → Mexico → Central America → South America, [be] [Venezuela] →
Mexico → North America, and gas of [be] Los Angeles → San Francisco → Seattle → Grand Canyon → Ruth
→ Chicago → Toronto → Newfoundland → Ottawa → Calgary → Alaska → [Prudhoe bay] → Anchorage
→ To Japan

6 6	ニューヨーク USA ○2000年9月11日・日本に一時帰国するため ケネディ国際空港ユナイテッドサンフランシスコ 行き9:15分発に搭乗していた ○ハイジャックの放送のあと機内から全員下 ろされる ○ロビーのテレビでビル爆破事件を知った ○ビル爆破現場まで歩いた ○7日後空港再開で日本に一時帰国した 地下鉄を歩いて行 くのだろうかガス ボンベを背負って 入って行った消防 署員たち 	2001 9/6 9/17	USA New York 2001・9・11 ビル爆破現場  2001・9・11 ビル爆破現場 
6 7	日本一時帰国 JAPAN ○約一年ぶりに帰国自宅についた ○ニューヨークビル爆破事件で旅のことはすべ て吹き飛んでしまった ○打ちひしがれて旅の「自慢話」もできなかった。 ○58歳の誕生日に再びニューヨークへ	2001 9/18 10/15	JAPAN Temporary return It attached to homecoming home after an interval of about one year. All travel has blown off by the New York building bombing. Boast” of travel was not able to be done brokenheartedly. 58-years old birthday on October 15. It goes to New York again.
6 8	アメリカ USA ○約一ヶ月後10月15日ニューヨークに戻る ○ビル現場からはまだ煙が上がっていた ○交通整理のおまわりさんもマスクをして制服 は舞い上がる粉じんであっ白になっていた ○にぎやかだった600人ほど泊まれるマンハッ タンのユースホステル18人部屋にひとりだけ ○ワシントン～フロリダ～キーウエストを走ってメ キシコに向かって走る	10/15 11/19	USA   犠牲になった行方不明者を 掲示板で探す人たち。(上) 一カ月たったビル爆破現場 ではまだ煙が上がっていた (右)

中 米 Central America



ひとやすみ

パナマ運河ものがたり

パナマ運河(パナマうんが、スペイン語: Canal de Panamá、英語: Panama Canal)は、パナマ共和国のパナマ地峡を開削して太平洋とカリブ海を結んでいる閘門式運河で、全長約80km、最小幅192m。スエズ運河を拓いたフェルディナン・ド・レセップスの手で開発に着手したものの、難工事とマラリアの蔓延により放棄。その後パナマ運河地帯としてアメリカ合衆国によって建設が進められ、10年の歳月をかけて1914年に開通した。長らくアメリカによる管理が続いてきたが、1999年12月31日正午をもってパナマに完全返還された。現在はパナマ運河庁(ACP)が管理している。

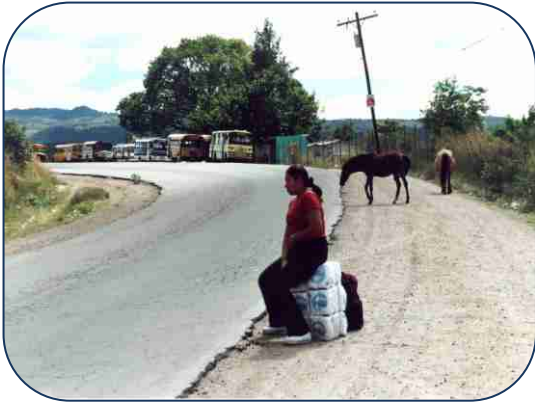
2002年の実績によれば、年間通航船舶数は13,185隻。通航総貨物量は1億8782万トン(いずれもパナマ運河庁調べ)。



パナマ運河の全体図 南の太平洋岸からパナマ市を右手に見て25kmほど北西に運河を進むと天然の湖を利用したガトゥン湖に入り、北のカリブ海側に到達する



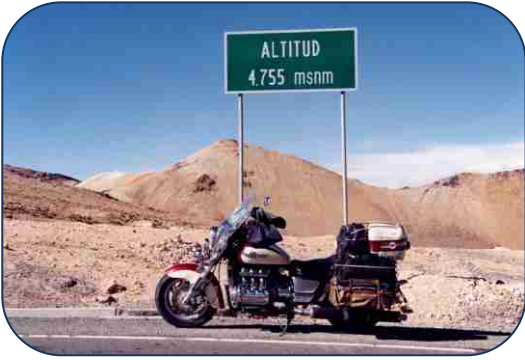
69	メキシコ MEXICO 11/19 11/28 ○アメリカでの国境の手続きを終えて ○メキシコに入るが国境は大混雑・手続き事務所はおお周りしたところだった ○メキシコシティのソーカロ?の一角にユースホステルがあった ○ゲリになって水みたいな便がつづく		MEXICO Mexico city メキシコ市内広場 
70	グアテマラ GUATEMALA 2001 11/28 11/29 ○泊まったホテルはラブホテルみたいなところだった ○シティバンクカードを使える銀行があったのでほっとした ○山道で狭い道、標高が高いところを走った		Guatemala 国境越えてガテマラに入ったばかり 
71	エルサルバドル ELSALVADOR 11/29 12/1 ○大型トラックにサトウキビを山盛りに積んで走っていた ○2m以上あるサトウキビの白い穂の中を走り続ける ○工場の近くと思われるところでは甘い黒砂糖の匂いが漂ってくる時もあった ○ホテル・銀行の前には銃を構えた兵士がいた ○今日も標高が高い道を走る		ELSALVADOR さーてどっちだ? うまそうな食堂の 
72	ホンジュラス HONDURAS 12/1 12/3 ○でこぼこの道があちらこちらに出てきてスピードを上げられない ○今日も狭い山道のカーブが続く ○若いホテルオーナーが宿代をプレゼントしてくれた、ビール代も。ありがとう		HONDURAS 水道の管から直接出てくる水は冷たかった 

7 3	ニカラグア NICARAGUA ○じゃりみちとアスファルト交互に出てくる ○あっちこっちの道路にも兵士が立って警備していた ○迷って行く先々で道を聞く	2001 12/3 12/4	NICARAGUA 道に迷ってコスタリカへの道を聞く 
7 4	コスタリカ COSTA RICA ○ヤシの緑の葉っぱが太陽の光で金ぴかに光っていた ○中米に来てスピードを落とすために造られた「突飛」に引っ掛かり苦労した ○コスタリカでも「ガガー」とオートバイの腹が使えて転倒しそうになる	12/4 12/6	COSTA RICA 人もロバもゆったり。写真を撮ったあと突飛でオートバイの腹が使えてひっくり返 
7 5	パナマ PANAMA ○標高が高いのだろうだんだん寒くなってくる ○パナマ運河を運航する大型船、水の装置になるほどと感心した ○コロンビアに渡る船を見つけにパナマ運河のコロンまで行ったり来たり ○コロンビアに渡る船は今はないとコロンビア大使館 ○飛行機でパナマからコロンビア・ポコダまで約 600 \$ = 8万円とは「たけー」 	12/6 12/11	Panama パナマシティに到着したばかり。これから宿のことで気持ちは落ち着かない、  町全体が荒れているように感じた大西洋側のコロンの町だ 

南アメリカ South America



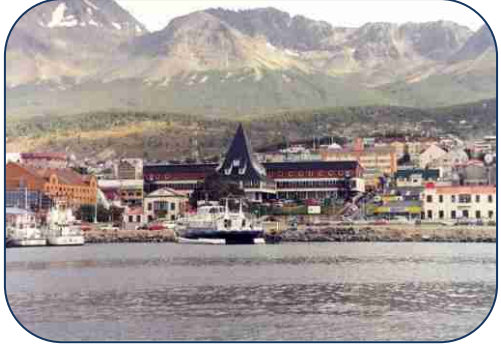
76	コロンビア COLOMBIA ○さあ一南米に来たぞ ○首都ボゴタ・空港にリュックを忘れたのを宿に着いてから気づきタクシーで空港へ ○空港で受け取りはどうなるかと心配したが出口から入りどうにか手にすることが出来た ○中米と比べて気温は高いようだ	2001 12/11 12/15	COLOMBIA 食堂前で明るいにぎやかな地元の人たちと 
77	エクアドル ECUADOR ○途中の峠で突然渋滞どうした！ ○7台のトラックが一斉にパンクの修理、ゲリラのシワザ？だろうか ○オートバイはぎりぎりすり抜けられた ○赤道直下なのにどうして寒いのだろうか ○エクアドル＝「赤道」の意味と知った	12/15 12/22	ECUADOR コロンビアとエクアドルの国境 
78	ペルー PERU ○空中地上絵ナスカから標高が上がる ○アンデス山脈3つか4つの高い山を越える ○トルコの高原に次いで純粹の青色の空を見た ○クスコから列車で世界遺産マチュピチュへ ○標高3800m世界で一番高い湖チチカカ湖の中にある島に泊まる ○ラパスに行く途中の景色はすばらしかった ○1月1日マチュピチュに登る ○宿の近くに露天風呂があり久しぶりにゆっくりひたる ○チチカカ湖の水上に住んでいる5, 6歳の女の子が描いたのを買ってきた 	2001 12/22 2002 1/7	PERU 世界遺産マチュピチュ、中央のワイナー山に登ったが下りる時こわかった  ワイナー山登り口の石垣で見つけた人間？鬼の顔 

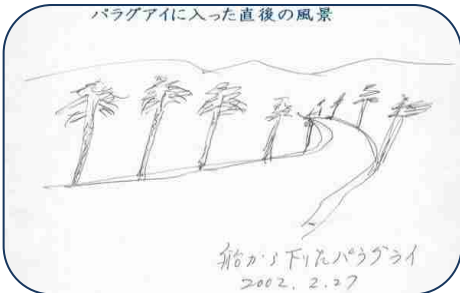
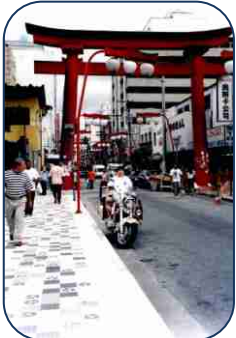
79	ボリビア BOLIVIA ○3800mの標高、高原を走る ○ラパス市内のホテルに着いてからカゼみたい に頭が痛くなる ○食欲もなし高山病にかかった ○早目にラパスを離れることにした	1/7 1/9	BOLIVIA 高原を走って来るとラパス市内が目の前に現れた 
80	ペルー PERU ○ラパスから戻る時道を間違えてチチカカ湖を船で渡る ○だんだんスピードが落ちてくるギアーを落とした峠の標高4750mだった 標高3800m 世界で一番高い湖チチカカ湖 子どもたちが花を売っていた 	1/9 1/10	PERU だんだんスピードが落ちてきた峠では4750mの標識が建っていた 
81	チリ CHILE ○雲海の上を入ったり先の見えないほど白いガスの中を走った ○どうしてこんなに寒いのだろうかと思った ○海岸通りは砂漠の砂がヘルメットにぱちぱち音をさせる ○行き止りプエルトモント港からアルゼンチン・プエルトナタレスまで ○三泊四日のフェリー船277\$=33000円	1/10 1/21	CHILE アンデス山脈は不気味さを感じる静けさ 
82	アルゼンチン ペリトモレノ ARGENTINE ○フェリー船を下りてジャリ道をカラファテ・ペリトモレノ氷河まで走る ○ペリトモレノ氷河はわたしの見た氷河(スイス、ノルウェー、カナダ、パキスタン)の中では一番きれいだった。幅4km長さは20数キロあるとの説明 ○午後になるといちばん前の氷河は割れてドボーンと湖にはじける ○同じ道ブンタアレナスまで戻る	1/21 1/24	ARGENTINE 美しいペリトモレノ氷河・カラファテ氷河の高さは100m以上あるとか 

南アメリカ South America



フエゴ島にはマゼラン海峡を連絡船で渡る。そんなには広くなかった
(Google earth)

83	チリ プンタアレナス ○寒くて一泊してウスアイアに向かう	1/24 1/25	CHILE・punta Arenas
84	アルゼンチン・ウスアイア ARGENTINE ○世界の最南端・ウスアイアの町 ○フェイゴ島に渡るととたんに強風に会いジャリ道の溝に入り込む ○最南端ウスアイア夜中12時に着いた ○最南端3号線の行き止りについに到着 ○行き止りの50m先は海になっていた ○日本人宿上野山荘には一カ月ほどお世話になった。タラバガニ・ウニ丼・マスの刺身は絶品だった。 ○上野山荘オーナー 上野信隆さん2002年5月9日逝去 綾子おばさん2010年4月8日逝去 お世話になりました 在りし日の上野さん夫婦(2002年2月)と	2002 1/25 2/3	ARGENTINE・South end Ushuaia 最南端ウスアイア3号線の 行き止りこの先50mは海  ヨットからウスアイア市内を見る 
85	チリ プエルトウィリアムス CHILE ○人間が住んでいる最南端にヨットを探してプエルトウィリアムスに行くー万円だった ○5時間かかりプエルトウィリアムス島にいく ○人口約2000人ぐらいと言われるプエルトウィリアムス島に着く ○船上から到着を連絡したのだろう入国手続は歩いてきた国境係官がヨットの船の中ですませる ○民宿3軒ぐらいだった	2/3 2/6	CHILE 人が住んでいる最南端プエルトウィリアムス島。郵便局で切手を買った 
86	アルゼンチンブエノスアイレス ARGENTINE ○最南端ウスアイアから北上首都ブエノスアイレスへ ○一日中800km走って同じ風景におどろいた ○海辺から途中内陸部の山間地方に入る。川そばでキャンプ ○ブラジルのビザをとる	2/6 2/27	ARGENTINE・Buenos Aires 道ばたでめずらしい草花 (上) 川のあるほとりで キャンプ。川で泳いで身 体を洗う気持ちよかった  

87	ウルグアイ URUGUAY ○陸路でウルグアイまでは遠回り聞いて船で行く ○アルゼンチンの港で出国手続き ○サッカー場に試合を見に行った ○ワールド第1回の優勝国とか ○ウルグアイの写真がなーい、どうしたんだろう	2002 2/27 3/1	URUGUAY ヤシの木が青空の中にきれいに映えてきれいだった。船から下りてすぐの風景 
88	ブラジル BRAZIL ○日本人宿「荒木荘」の場所をパトカーに誘導してもらった ○日本人街には日本と同じものが何でもありなると感心した ○ふるさと佐賀、嬉野吉田からブラジルに移住された三家族と会って話をすることが出来た ○他の移住者の人たちとも話をすることが出来た ○オートバイ街は日本より規模が大きかった ○サンパウロの日本人街→ 	3/1 3/2	BRAZIL・San Paulo 北海道から九州まで日本から移住してきた人たちと話が出来た・サンパウロ郊外 
89	アルゼンチン ARGENTINE 国境は確か背中合わせで数分で手続きを終えた。どこでもこれだと助かるけどなー	3/2	ARGENTINE
90	パラグアイ PARAGUAY ○ブラジルからアルゼンチンを一気に走る ○国境の出入り口がわからず行ったり来たり ○日本の県道みたいな道を走る ○パラグアイに入ると韓国出身の人にホテル内山田まで引っ張ってもらった ○ホテル内山田旧館10\$ = 1200円で泊まり ○屋間は新館10階で過ごした ○ビル屋上から遠くを眺めると沼地がそこまで来ていた、もしかしたらアマゾン川流域かも	3/3 3/13	PARAGUAY・Asuncion 「ホテル内山田」の10階から 

9 1	ブラジル・ブラジリア BRAZIL ○イグアスの滝は見るのに2日間かった ○首都ブラジリアからアマゾン川までは道が悪かった ○アマゾン川河口ペレンからジャングルの百万人都市マナウスまで五泊六日は楽しかった ○赤道の標識右は南半球・左は北半球地球の真ん中に立つ ○右足は南半球 左足は北半球、 地球の真ん中に 立つ赤道をまたぐ 	2002 3/13 5/8	BRAZIL・Brasilia  飛行機を形どった街 首都ブラジリア
9 2	ベネゼエラ VENEZUELA ○ジャングルの都市マナウスからジャングルのずーっとさびしい中を走り続ける ○こっぱみじんにされるのではないかとおそろしかった稲妻とトドロキの音 ○首都カラカスは港だと思っていたが着いたところは山の中 ○港はふた山越えたところだった ○オートバイのエンジンの中にマリファナがと疑われ半日拘束 ○カラカスからオートバイをメキシコへ飛行機で送る 首都カラカス市内 	5/8 5/17	VENEZUELA ブラジルのジャングルからテーブルマウンテンの見えるギアナ高原を走る   ブラジルとベネゼエラの国境の真ん中
9 3	メキシコ MEXICO ○オートバイが到着するまで心配だった ○モチスからカリフォルニア半島に船で渡る ○港には小学校が海の上に立っていた ○山火事はそのままほったらかしのようだ ○大木のようなサボテンに出会う	5/17 6/8	MEXICO カリフォルニア半島をキャンプしながら北上。寒かった場所もあった 

費用はどうした

飲んで、喰って、泊まって、ガソリン代すべて込みこみ一日5000円で計画した。ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリアでは足りなかったが他の国ではこれ以下で済むことがあるので助かった。退職金をすべて使い果たして今貯金ゼロどころか借金250万円。いま年金月15万円で四苦八苦しなうながら過している。自業自得。

恐ろしかったこと、こまったこと

- ・砂嵐で道が消え死ぬ思いだったサハラ砂漠（アフリカ）
- ・バスケット睡眠薬強盗、1万5千円盗られた（オランダ）
- ・吹雪のピレネー山脈スペインからフランス側へ越え（アンドラ）
- ・砂漠でエンスト、（ヨルダン）
- ・9. 11ニューヨーク同時ビル爆破に遭遇（ニューヨーク）
- ・交通事故、ヘリコプターで入院（アラスカ）
- ・50度cの灼熱に負けるものと必死の覚悟（インド）
- ・平均標高4000mチベットの山岳は悪路続き、転倒で指骨折まいった（中国）
- ・シベリア横断モスクワまで一万kmの半分5000kmのじゃりみちに降参（ロシア）
- ・溪谷、頭上からの落石カラコルムハイウェイ中国国境までおろおそろしや（パキスタン）

どこの国に行っても人間と人間ほんとうに親切にしてもらいお世話になりました。よかったらホームページを見てください。写真も載せています。

どこがよかった

- ・6千、7千メートルの山に囲まれたフンザ、カリマバードのパキスタン「風のナウシカ」の舞台とか？
- ・エベレストベースキャンプとフランス凱旋門では、あーほんとにオートバイできてしまったと感動した。
- ・地球じゃないのではと、ぞくっと別世界を感じた。大自然のノルウェー
- ・アマゾン大河の5泊6日船旅はまわる灯ろうの景色。信号、ガソリン、標識、道路のことなど心配することなし

居心地のよかった所（宿など安くて、酒飲めて、うまくて、暖かくて、自由で、のんびりできて）順不同

- ・カトマンズ（ネパール）ステーキ100g40円ぐらい。ビール大120円。ホテル200円ぐらいから。
- ・ブルガリア（ブルガリア）日本と同じわらびが出そうな感じの風土。
- ・エルサレム（イスラエル）まったく自由だったけど、今は一。
- ・クリシイ、ユースホステル（フランス）肉、ビール、ワイン1日800円プラス宿代2000円。1年以上住んでる人も居た
- ・サンパウロの他どこでも（ブラジル）明るく、陽気、親切 だった。
- ・ウスアイア（上野山荘）（アルゼンチン）日本人宿だったのでいつも日本人がやってくる。楽しかった。
- ・ラワルピンデ、カリマバード（パキスタン）親切さに動けなくなった。4ヶ月ぐらい滞在した。
- ・ウランバートル（モンゴル）陽気であかるいキャンプでたのしかった。

海外を走る動機、言葉は、たべものは、寝るところはどうした

「漠然」と世界の果てを見てみたいなと考えていた。定年を前にふーっと前を見たらエーあと20年で80歳。うわあー動けるのはあと少し、酒好きだから自分はいつ倒れるかわからない。今なら元気だ、動けるのは今しかない、「誰もやってないことをやって見よう」よし今行こうと決断57歳で退職した。

英語の大文字、小文字も満足に書けない、しゃべれない、話せない。でも日本語、佐賀、嬉野吉田弁だけで148か所の国境を越えてきた。

ビザ申請書には名前とパスポートナンバーだけローマ字で書く。あとは「ひらがな」で「すみません」「わかりません」「よろしくお願いします」など書いた。突き返されたことはなく大丈夫だった。食べ物は現地のものでOK、たまねぎ、ジャガイモはどこの国でもあった。行き当たりばったりでユースホステルや安宿、テントで寝る。なにが起こるか分からない毎日、道に迷ったとき戻ってこれるかどうかが道のことが一番不安だった。

北アメリカ・カナダ・アラスカ

North America Canada Alaskan



スタート 2001/9/6 ニューヨーク→フロリダ→メキシコ→中米→南米・ベネズエラ→メキシコ→
 北アメリカ・ロスアンゼルス→サンフランシスコ→シアトル→グランドキャニオン→ラスベガス→
 シカゴ→トロント→ニューファンドランド→オタワ→カルガリー→アラスカ→ブルトベイ→アン
 カレジ→日本へ

2001/9/6 start New York → Mexico → Central America → South America, [be] [Venezuela] → Mexico →
 North America, and gas of [be] Los Angeles → San Francisco → Seattle → Grand Canyon → Ruth →
 Chicago → Toronto → Newfoundland → Ottawa → Calgary → Alaska → Prudhoe Bay →
 Anchorage → To Japan

94	アメリカ USA ○アメリカに入って200走ってもつかない？ なんとマイルに変わって320kmだった ○ロスアンゼルス、サンフランシスコを、そしてシアトルを走る ○グランドキャニオンは北展望台からいったん川底まで走り南展望台へ丸一日かかった ○ナイアガラ滝を見に行きパスポートを失くしてしまった、ポルトガルに次いで2回目、トロント日本大使館で怒られた	2002 6/8 7/2	USA San Francisco サンフランシスコのゴールデンブリッジ長女と 
95	カナダ CANADA ○首都オタワはきれいな街だった ○最も東にある島ニューファンドランドまでよく走って行ったもんだと思う ○火炎放射機でジュウっと焼けるぐらい蚊の大群だった	7/2 7/27	CANADA スイスと同じきれすぎるカナダ 
96	アラスカ USA ALASKA ○最北端プリトベリに到着朝1℃と寒かった ○じゃりみちをよく走ってきた ○オートバイのタイヤでけた石でスタンドがとれてしまい停まるけど降りられなかった ○アンカレッジまで200kmのところで交通事故 ヘリコプターで入院 ○入院費用640万円保険に入ってた良かった  交通事故でアンカレッジ病院に入 最北端プリトベリに向かって走る 	7/27 8/24	USA ALASKA 最北端アラスカ・プリトベリに到着  2002.7.28 熊が出なくてよかった 
97	ハワイ USA HAWAII アラスカ交通事故リハビリ休養約1カ月	8/24 10/8	USA HAWAII
98	ハワイから日本に一時帰国 JAPAN	2002 10/9 2003 3/4	JAPAN Temporary return

北極点 & 北極圏

North Pole & Arctic Circle



北極点→点の範囲は1mぐらい？それとももっと小さい「点」なのかな？

赤道→道と言うぐらいだから100mか1kmぐらいの幅があるのだろうかと思って気象庁に電話で聞いてみたら「線」で「幅はない」とのことだった。ふーん。

北極圏を走った国はノルウェイとアラスカ

イラク IRAQ(日本から飛行機往復)

戦争反対

○ニューヨークビル爆破の主犯ビンラデンはアフガニスタンにいと攻撃をはじめた

○ブッシュ大統領がある日突然イラクに「大量破壊兵器」があるとアフガニスタンからイラク攻撃にかわる

○「日本は金だけ出して血を流さなくてもいいのか」と小泉首相は追隨する

○日本のほとんどのTV, 新聞はいっせいに「イラク攻撃」やむなしの報道・自衛隊派遣も決定

○第二次世界大戦前夜と同じ様相「イラク攻撃」反対の声弱し

○わたしは自分史に汚点を残したくなかった。

○ビンラデンはどうした! 「おかしい」と戦争反対人間の盾としてイラクにひとりで飛ぶ

○トルコでヨルダンビザ。ヨルダンでイラクビザ申請・5日後ビザOKになる

○イラク・バグダッド市内は何事もないように静かに暮らしていた、あたり前か。イラク攻撃10日前

○イラク攻撃開始2003年3月20日

○佐賀TVが「イラク攻撃反対」取材・放映される

○イラクに「大量破壊兵器」はなかった「ビンデラン」とも関係はなかったとアメリカは認めた

○犠牲になったイラク国民やアメリカ兵士に対してブッシュ大統領・小泉元首相は無罪でいいのか

その責任を問う

朝日新聞さいたま版掲載
(2003年3月19日付)



2003

3/4

3/12

JAPAN ⇄ IRAQ

Iraq attack and pacifism

It shuttles by airplane.

Iraq War opposite

It goes to Iraq alone

「NO Bush NO War !」

イラク市内の子どもたち



「ノーブッシュ・ノーホワイトハウス・ノーラー!」大学の前で学生たちとシュプレーヒコール



フセインの看板? イラク市



シベリア・モンゴル・ロシア・中東・中央アジア・東南アジア

Siberia Russia Central Asia Middle East Southeast Asia



スタート2003年2003/6/19 日本→ロシア・ウラジオストック→モンゴル→シベリア→モスクワ→カザフスタン→キルギス→ウズベキスタン→タジキスタン→トルクメニスタン→イラン→アゼルバイジャン→グルジア→トルコ→イラン→パキスタン→インド→ネパール→中国・チベット→ネパール→インド→オーストラリア

Start:2003/6/19 Japan→Vladivostok→Mongolia→Siberia→Moscow→Kazakhstan →Kirghiz→Uzbekistan→Tajikistan→Turkmenistan→Iran→Azerbaijan→Georgia→Turkey→Iran→Pakistan→India→Nepal→Tibet→Nepal→India～Australia

1
0
1

ロシア ウジオストック VLADIVOSTOK

2003
6/19
7/6

- ウラジオストックからモンゴルによってモスクワに向かう
- ハバロフスクを過ぎてからジャリ道になりギブアップ
- 途中の駅からチタ駅まで列車に載せる
- 夜行列車に乗ってチタに向かう途中の駅で買い物していたら列車が動き出し乗り遅れるところだった
- チタ駅でホームの長イスを利用してオートバイを下ろした

シベリア途中の村



VLADIVOSTOK

伏木港からロシア・ウラジオストック
に向かうフェリー



シベリア道路走行中



1
0
2

モンゴル MONGOLIA

7/6
7/15

- ウランウデからモンゴル・ウランウデに向かう
- 国境は昼休み2時間ぐらい緩衝地帯で待つ
- 思った以上に道路の状態はよく走りやすい
- モンゴルの人たちは大陸的なおおらかさで楽しかった、ありがとう

ゲルの中



ウランバートル市



MONGOLIA

ゲルにはじめて泊まった



全員が水の中に落とされるまでゲームが続くわたしも落とされた



1
0
3

ロシア **RUSSIAN**
 ○モンゴルからバイカル湖のシベリア街道にもどる
 ○モスクワまで2340kmの標識初めて出た
 ○モスクワでセルモーター故障部品取り換え
 ○前回お世話になったタンニャ女史に今回も修理のことでお世話になった。ありがとう
 ○心配したカザフスタン入国期限に間にあってホッとした
 ○ウラジオストックから5000kmはじやりみち

モスクワに向かうシベリア道路沿いの道端には自家農園で採れたと思われる野イチゴ、ジャガイモ、玉ねぎを売っ



2003
7/15
8/12

RUSSIAN

カザフスタン国境でかわいい子供が緊張していた。ごめんね。



ウラジオストックから走り出して約20日間7000km走ってモスクワまで2340kmの標識がようやく出てきた



1
0
4

カザフスタ **KAZAKHSTAN**
 ○モスクワからUターン、カザフスタンの国境がわかりずらかった
 ○地元の人が国境の入り口までマイカーで案内してくれた
 ○ホテルは満杯・コンチネンタルホテル(2万円)のボーイさん宅に30\$で泊めてもらう
 ○どこまで走っても麦畑がつづく
 ○ハルハシ湖を過ぎてまもなく中国天山山脈が立ちだかっているように雲の上にでた
 ○アルマティでウズベキスタンのビザをとる
 ○これから自分たちで国をつくっていく活気のあるのを感じた
 ○道路は工事中を除き問題ない

モーテル「777」のスタッフとアルマティ市内



8/12
8/21

KAZAKHSTAN

コンチネンタルホテルのボーイさん宅に泊めてもらった3600円・カザフスタン民族衣装



「とまれ！」なんとオートバイ見たさに追っかけてきたパトカー。あっちこっちで追いかけられた

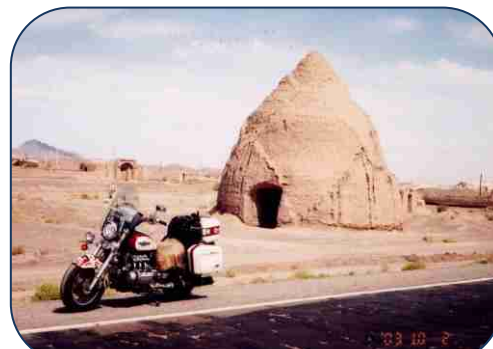


105	キルギス KYRGYS ○わけのわからない酔っ払った国境係官に文句を吐く ○どこかの国の経済援助をたて？にレーニン像を表から裏に移していた ○自分たちで国を造ろうとする気概を見受けられない。 ○道路所々アスファルトとジャリ道交互に出る  途中の峠からウズベキスタン方面を見る	2003 8/21 8/27	KYRGYS 表から（左）見えにくい裏手（右）にレーニン像を移していた。どこかの国と「経済援助と引き換え」と思われる。朝、裏手の現場に行くとひとりの地元の人が人差し指と親指で○を造って「マネー」と表現し  
106	ウズベキスタン UZBEKISTAN ○首都タシケントでトルクメニスタンビザ21日間かった ○その間に一気に7カ国のビザもとる ○サマルカンドでは1400年前「西遊記」のモデル三蔵玄装も寄ったといわれるレギスタン広場 ○なんとなく気持ちが和らぐウズベキスタン ○道路は問題ないがガソリンスタンドが10軒の内一軒ぐらいしか開いてなかった  日本人が多い。心まで見抜かれるような心やさしいサマルカンド安宿オーナー夫婦	8/27 9/19	UZBEKISTAN 毎日通っていたタシケントの食  三蔵法師も寄ったレギスタン 
107	タジキスタン TAJIKISTAN ○ウズベキスタン・サマルカンドからタジキスタンはすぐだと思ったが違った ○ぶーっと南に走ってアフガニスタンとの別れ道まで走る ○ウズベキスタンに入ると綿（わた）畑が延々と続く、道端にもワタが落ちてそれを拾う人あり ○首都ドウシャンベ市内は100mおきにポリスが立っていた ○道路郊外はわからないが市内までは問題ない	9/19 9/21	TAJIKISTAN 国境を越えるとしばらくは砂漠が続くタジキスタンに向かう道 

1 0 8	ウズベキスタン UZBEKISTAN ○タジキスタンからウズベキスタンに戻ってトルクメニスタンに向かう ○ガソリンスタンドが開いてるところでは常に予備のペットボトルに入れた  国境があるのかと心配しながら走る	2003 9/21 9/25	UZBEKISTAN タジキスタン近くで日本人に顔が似ていた女の子もたち 
1 0 9	トルクメニスタン TURKMENISTAN ○わたしがツーリストに連絡しなかったため入国できなくて丸1日国境で待機 ○一泊120円今までで一番安かった宿 ○給水1日2回家庭では水を池にためて暮らしていた ○銀行でカード使えず残り5000円に心細い ○カスピ海は船代がないのでやめにしてイランへ ○川の浮橋を渡る以外道は問題なし  朝早くどこに行くのかラクダさ	9/25 9/29	TURKMENISTAN 太陽といっしょにまわるひまわり大統領のモニュメント（大統領2009年死亡）  「120円」と今までで一番安かった宿 
1 1 0	イラン IRAN ○イランの東マシュハドでも銀行カード使えずビデオを売って2万7千円現金を手にする ○イラン・マシュハドから隣の国アゼルバイジャンまで2000km4泊5日お金を下ろしに走る ↓ 	9/29 10/5	IRAN Borger トルクメニスタンとイランに入ったばかりうしろの山が国境 

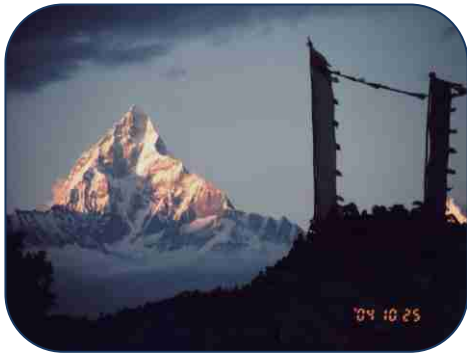
Siberia Russia Central Asia Middle East Southeast Asia



1 1 1	アゼルバイジャン AZERBAIJAN ○もうすぐアゼルバイジャン右手にはカスピ海 ○国境を越えた時夜になってしまうカスピ海のほとりに泊まる ○ATMでパシャパシャとお札を数える音を聞いて身体がふにやふにやになった ○道路国境地帯を過ぎれば問題なし ○もうすぐ首都バクー 右側にカスピ海 	10/5 10/9	AZERBAIJAN ザクロの季節なのだろうか道ばたで売る 
1 1 2	グルジア GEORGIA ○首都トビリシでは地元の若いライダーがレストランに招待してくれた ○そのレストランの自家製ブドウ酒はいままでの中で一番うまかった ○道路はトルコに抜ける国境近くは石ころと真ん中にくぼみがあり山の道はこわかった	10/9 10/11	GEORGIA グルジア中央駅とおもう 
1 1 3	トルコ TURKEY ○どうなるのかと心配したグルジア側の道から安心できるトルコホッとした ○トルコとイラン国境にある「アララ山」は富士山に似ている山 ○イランはアルコールはダメなので大量に買ってイランに入る	10/11 10/13	TURKEY トルコとイラン国境近くにそびえているアララ山 
1 1 4	イラン IRAN ○再びイランに入る ○10月15日60歳の誕生日をテヘランで迎えるこれで海外では3回目の誕生日 ○これからパキスタンへ向かう ○ガソリン1リッター＝6円だった ○イランの道はどこでもいい方に入る問題なし	10/13 10/20	IRAN トラックを停めて写してもらったがこれは何だろうか 

115	パキスタン PAKISTAN ○イランからパキスタン・クエッタ ○スライマン山脈を越えるがきつかった、パウダーみたいなふわふわの道もあり転んだ ○ホテルは安い、上階に行くに従って安くなる ○アルコールは有名ホテルの裏側にある「日本のパチンコの景品交換所」みたいなところで買う ○知り合いになった人が毎晩迎えに来て食堂街でごちそうになる ○オートバイの修理代もとらなかった ○人の親切さで動けなくなった ○気合を入れ直すため一時帰国する アフガニスタン国境近くのバザール  ○二度アフガニスタンにアタックしたがオートバイはダメと入れなかった↑	2003 10/20 12/14	PAKISTAN クエッタからスライマン山脈を越えてラホールへ向かう  すべてのトラックはキンキラキンの装飾しかしスピードが出ない 
116	日本一時帰国 JAPAN	2003 12/15 2004 3/22	JAPAN Temporary return
117	パキスタン PAKISTAN ○日本から再びパキスタンに戻ってきた ○フンザ・カリマバード・中国国境には山の中腹を走る ○高い山が多いため7000m以上にならないと山の「名前」で呼んでももらえないと言う ○パキスタンにはトータルで4カ月滞在した  カラコラムハイウェイと名前はいいが一年中ガケ崩れがあったり雪崩が起きたり、垂直に削り探った山の中腹道を走る	3/22 5/13	PAKISTAN フンザ・カリマバードは桃源郷と呼ばれている。「風のナウシカ」の舞台と聞いたが・・・  ヒマラヤ山脈・ヒンズウクシ山脈・カラコラム山脈が集まった場所ポイント展望台 

1 1 8	インド INDIA ○パキスタンでも40℃の中を走ってきたがインドは湿気がある ○オートバイにつけている温度計50℃ ○ペットボトルの水30分もしないで熱くなる ○朝起きると「負けるものか」と必死で走った ○セルモーターが故障トラックをチャーターネパールまで運んだ ○場所を聞くと「そこ」にあると「ない」のに嘘をつく ○旅行者はインドについて好き嫌いが半々と聞いたわたしは大嫌いだ ○道路北部はガタガタジャリ道南にいくに従って少しずつよくなっていく	2004 5/13 5/21	INDIA セルモーターが故障 ネパールまで運ぶ バラナシの町の中を走る。 ライダー滝野沢優子さん撮影
1 1 9	ネパール NEPAL ○山、山の奥にあるネパールに夜中についてオートバイを下ろす ○タメル地区50カ所ぐらいホテルを探した ○その中で居ごごちのいいホテルトイレ、シャワー付き200円 ○食堂食事代120円ぐらい ○ビール大瓶120円 ○居ごごち最高のカトマンズ ○道路市内、郊外まではいい。外れるとひどい	5/21 8/31	NEPAL インドとネパールの国境 ネパール側に入った所
1 2 0	中国・チベット CHINATIBETTO ○チベット入国ビザ30日、ツーリストに頼む ○一般旅行者もすべて ○四輪駆動・ドライバーとガイド付ではじめて許可 ○一気に標高3700m ○ヒマラヤ山脈5000mを越える峠5, 6個越える ○ラサ～西チベット・カイラス山～エベレストベースキャンプ5200mまで走る ○セルモーター、うしろブレーキ壊れたままチベットからカトマンズまで走る ○多い時一日4回転んだ ○道路は最悪オフロード車でないと無理 これは道じゃない、引き返そうと思った。地元の人10人やとって乗り切る。ひとり200円ぐらい	8/31 9/29	CHINATIBETTO エベレストベースキャンプ5200m地点 行き止りなんともいえぬ満足感を感じた。 一日多い時4回転んだ。右手薬指を骨折した カトマンズで出会った粥川ライダーといっしょにツアーを組んだ。彼のおかげで走れた。ラサ・ポタラ宮

1 2 1	ネパール NEPAL ○一カ月ぶりにカトマンズに戻る ○エベレストでNHK地球ラジオで連絡とれなかったのでカトマンズから実況中継 ○10月15日61歳海外で4回目の誕生日 ○餃子で食あたり病院へ ○もう一つの町ポカラまで走ってみた ○トータルで4カ月ぐらい滞在 ポカラ市内か 	2004 9/29 10/26	NEPAL カトマンズ西の仏塔  デスカバリーイン ホテルー泊320円  オートバイ修理 カトマンズ市内で  お世話になったカジさん・アソコさん一家 
1 2 2	インド INDIA ○バングラデシュは水害で水浸しで行くのをやめる ○水害に被害はネパール、インドにも出た ○ネットで打ち合わせバラナシで日本人ライダー5人落ちあう。左から鉄馬B女、くろさん、ぽこゆうこ夫婦、松尾) ○アフリカを別々に走ってきた男2女2の猛者 ○インド北の道は穴ぼこだらけ ○インド・ムンバイからオーストラリアへオートバイを送る ○日本大使館の女性に船の交渉を手伝ってもらい大助かり ○スマトラ沖地震あぶなかったなー	10/26 11/11	INDIA わたしを除くアフリカを走り終えた猛者4人（荒木さんは二日酔いでダウン）バラナシ 
1 2 3	タイ THAILAND ○格安航空券買うため立ち寄る	11/12 12/17	THAILAND It stops to buy the discount airline ticket.
1 2 4	日本一時帰国 Japan ○オートバイのオーストラリア到着を待つ ○スマトラ沖地震12月25日 ○オーストラリアに出発 2002年2月2日	2004 12/18 2005 2/2	JAPAN Temporary return The Australia arrival of the motorcycle is waited for. Sumatra coast earthquake December 25 It is a leave Australia February 2, 2002.
1 2 5	タイ THAILAND ○オーストラリアの航空券購入 ○カオサン通りにスマトラ沖地震援助カンパ設けられていた	2/2 2/9	THAILAND The Sumatra coast earthquake help donation had been installed according to [kaosan].
1 2 6	ブルネイ BRUNEI ○ブルネイ経由オーストラリアへ	2/9	BRUNEI To Australia by way of Brunei

オーストラリア・ニュージーランド

Australia・New Zealand



1
2
7

オーストラリア AUSTRARIA

2/9
3/31

- オーストラリア・パースに到着
- 時計と逆回りに走る
- ナラボウ平原三日間直線道路におどろいた
- 車にはねられた動物の死骸が古いものから新しい物まで道ばたにころかっている
- オーストラリアの人は仏様のようにやさしい
- 物価は高い
- 紙は世界で一番いい、どこでも手に入りトイレでも不便なし

はねられたカンガ



AUSTRARIA

ナラボウ平原は写真のように三日間ほとんど直線道路1500kmはあるだろう。すごかった。
道ばたに動物の死骸が新しいものから古い



	エアーズロックの頂上  3 m以上はあったアリ塚 		路肩がやわらくて転倒  キャンプしていたらテント前にきたカンガルがめずらしそうな顔してながめていた 
1 2 8	ニュージーランド NEWZEALAND ○オーストラリア3か月ビザが切れる前にニュージーランドに飛行機で渡る ○再びオーストラリアに入るとビザOKになる。	3/31 4/5	NEWZEALAND ニュージーランドの北の果 
1 2 9	オーストラリア AUSTRARIA パースはきれいな広い公園が多 	4/5 6/9	AUSTRARIA 日本人・韓国人など入れ替わり立ち替わり泊まりに来る。「シドニー東京ビレッジ」 
1 3 0	ブルネイ 乗り継ぎ BRUNEI	6/9	Change airport BRUNEI
1 3 1	タイ 乗り継ぎ THAILAND	6/9	Change airport THAILAND

日本と海外

○日本と違うと思ったことはなんですか

日本は右側通行。外国はほとんど左側通行。国境を越えてからこの国はどっちだろう？とわかるまで真ん中を走っていた。フランス右側からイギリス左へ。イラン右からパキスタン左へ

○何年生まれ・何歳まで旅を続けますか。

1943年（昭和18年）10月15日佐賀・嬉野市吉田生まれ
ウン何歳まで続けられるかな？チベットは走れたが、本土はいまも自分のオートバイで走ることが「許可」されていない。シルク道路を走れるまで元気でいたい。

○日本で好きな料理はなんですか

青梅の塩漬け。なすいため。マグロ赤身ぶつ。ショウガの梅酢漬け

○走った国全部教えてください

112カ国訪問してオートバイでは102カ国走りました。

○有名人にあいましたか→会いませんでした

○貧しい人に会いましたか

はだしで破れたシャツ、パンツ一枚歩いている国もありましたが心は豊かでした。靴はいて洋服を着ていても心の貧しい人にいっぱい会いました。

○一日何時間走りますか

最高1200km15時間。普通は600km10時間ぐらいです

○一日ガソリンはどのくらい使いますか

タンクは20リッター入ります。約200kmで15, 6リッター給油。一日3回から4回給油

○ガソリンが一番高い国。安い国はどこですか

高い国 オーストラリア、日本。安い国「1リッター」①イラク→3円（2003年）
②イラン→6円（2003年）③ベネゼーラ→1円（2002年）

○お風呂などはどうしていたのですか

浴そうのない国がほとんどでシャワーが多い。水だけのところもありました。キャンプした時など川、湖で泳いだりして身体を洗いました。ハンガリーの一番大きな池みたいな露天風呂。西チベットや南米のマチュピチュなどにも露天風呂がありました。

○もう一度行きたい国はどこですか

アラスカ、ネパール、パキスタン、ブラジル、ノルウェイ
各国の人たちにはお世話になったままなのでうしろめたさがあります

○一番長く滞在した国はどこですか

パキスタン、オーストラリア、ネパールには4ヶ月ぐらいいました。

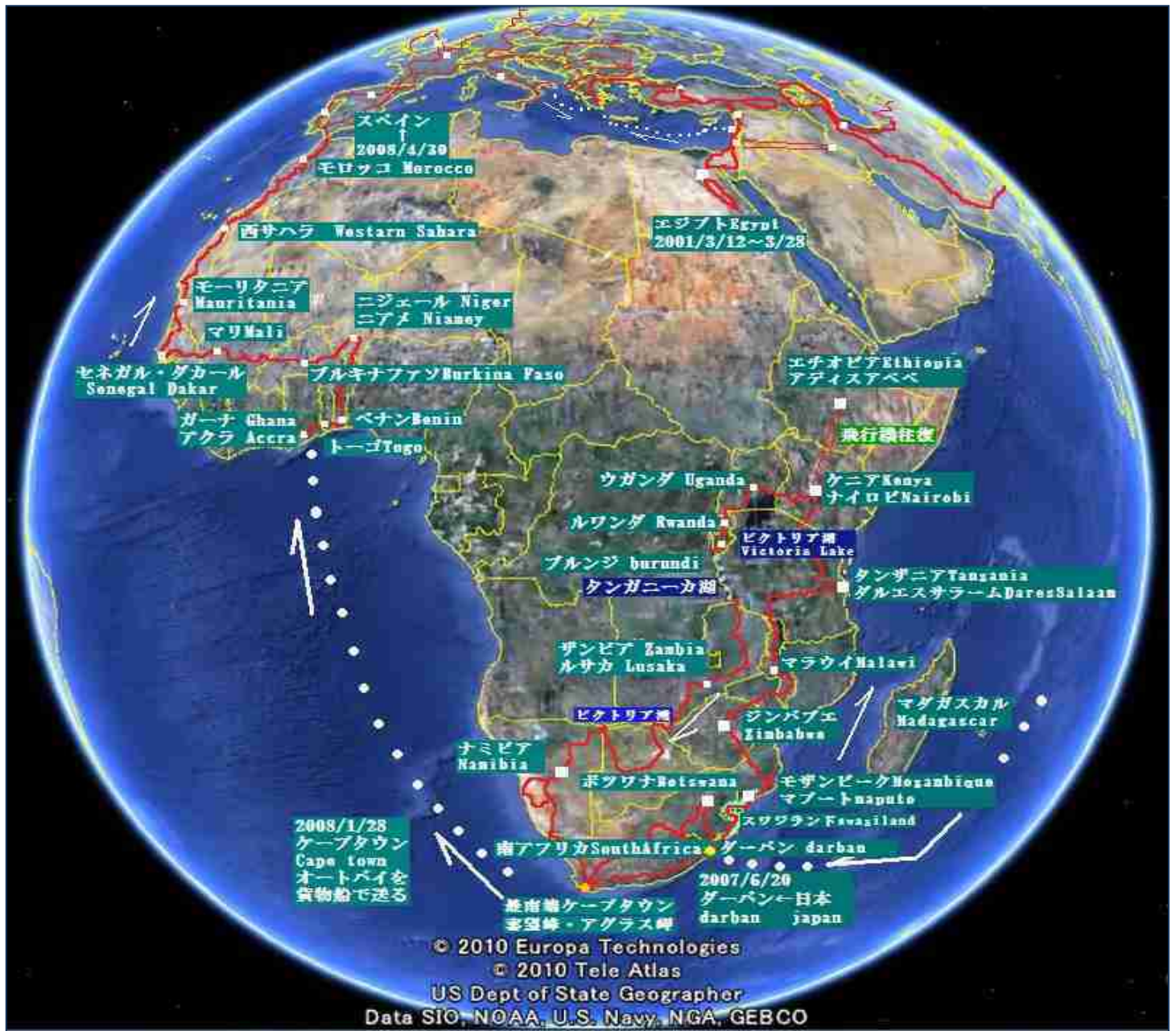
○ホテル代が一番高いところ、安いところ（わたしが泊まったホテルの中では）

高かった国→アラスカ12000円。夏は2倍になると聞きました。
安かった国→トルクメニスタン＝110円、ネパールトイレ、シャワー付き400円

○友達はできましたか。

訪問先ではほんとみなさんにお世話になりました。友だちもいっぱいできました。オランダ、ロシア、パキスタン、アメリカ、いまでも日本語英語で電話、手紙、パソコンでやりとりしています。

アフリカ Africa



スタート 2007年6月20日

南アフリカ・ダーバン→スワジランド→モザンビーク→ジンバブエ→モザンビーク→マラウイ→タンザニア→ケニア→エチオピア→ケニア→ウガンダ→ルワンダ→ブルンジ→タンザニア→ザンビア→ジンバブエ→ボツワナ→ナミビア→南アフリカ・ケープタウン

西アフリカ

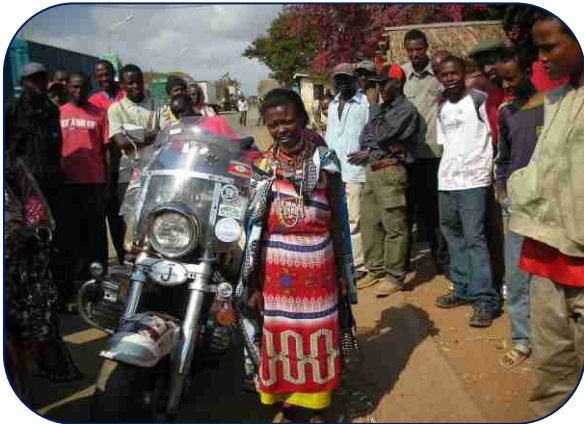
ガーナ・アクラ→トーゴ→ベナン→ニジェール→ブルキナファソ→マリ→セネガル→モーリタニア→西サハラ→モロッコ→スペイン・バルセロナ→日本 (2008年5月)

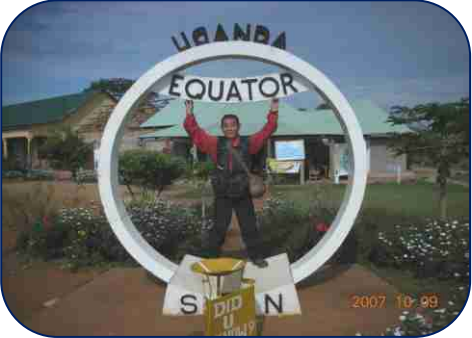
Start 2007/6/20 South Africa Durban→Swaziland→Mozambique→Zimbabwe→Mozambique→Malawi→Tanzania→Kenya→Ethiopia→Kenya→Uganda→Rwanda→Burundi→Tanzania→Zambia→Zimbabwe→Botswana→Namibia→→South Africa

Ghana→Togo→Benin→Niger→Burkina Faso→Mali→Senegal→Mauritania→Western Sahara→Morocco→Japan

1 3 2	日本一時帰国 J A P A N (2005/6~2007/6) アフリカへ出発2007年6月19日	2005 6/9 2年間 休み 2007 6/19	JAPAN Temporary return Rest for two years It leaves for the travel of Africa .6/19/2007 To Africa
1 3 3	中国・上海 乗りつぎ CHINA SHANHAI	6/19	CHINA SHANHAI
1 3 4	モルジフ 乗りつぎ MOLDIVES ○モルフジってどこにあるのかわからなかった ○インドの突端左に小さい島そこがモルジフだった	6/20	MOLDIVES モルフジ空港 
1 3 5	南アフリカ SOUTH AFRICA ○はたしてアフリカを走ることが出来るだろうかと 地理のこと、治安のこと不安 ○飛行機から眺めるアフリカ大陸が見えた時は震える気持だった ○スタート地点ダーバンでオートバイがつくまでしばらく滞在、少し落ち着いてきた ○南アフリカは開けている国でイメージと違っていた 上空からアフリカ大陸を見て不安になった 	2007 6/20 7/12	SOUTH AFRICA アフリカに来てはじめて泊まった ユースホステルのスタッフ  学校から一週間ユースに泊まりに来ていた小学校の子どもたち 
1 3 6	スワジランド SWAZILAND ○アフリカらしい感じを描いてあった国境 ○高原にあるスワジランド ○おだやかで風なしの温かさにつられていごごちのよかった2週間だった ○宿のオーナーに連れられて行った「女の踊り」1万5千人は圧巻だった。 学校帰りに「こんにちは」 	7/12 7/25	SWAZILAND 1年に一回全土から集まり披露する 「女の踊り」1万5千人には圧倒された 

1 3 7	モザンビーク MOZAMBIQUE ○スワジランドからモザンビーク・マプト ○ホテルを地元のオートバイ青年におしえてもらった ○タンザニアのビザをとる ○スワジランドとは雰囲気違って緊張する ○だれも歩いていないサバンナ道路が続く ○道路は問題なし	2007 7/25 8/2	MOZAMBIQUE 入国手続きを終えてモザンビークに入ったばかりの国境 
1 3 8	ジンバブエ ZIMBABE ○ガソリンがない国と聞いている ○最後のガススタンドでジンバブエの人が小型トラック出来ていたのでジンバブエのホテルまで運んでもらった ○ホテルに着いたらガソリンが届いていたので助かった ○ほんとにどこのガススタンドにもガソリンがなかった	8/2 8/7	ZIMBABE 道端では農産物を家族総出で売っていた 
1 3 9	モザンビーク MOZAMBIQUE ○たまげたパオパブの木が一軒の家よりでかかった ○静かなさびしい道がどこまでも続く↓ 	8/7 8/8	MOZAMBIQUE 直径 7・8mはあるパオパブの木にたまげた。となりの家より大きい 
1 4 0	マラウイ MALAWI ○この国は治安がいいのだろうか歩いて旅している旅行者を男女二組見た ○ネズミのくし刺しを売っていた子どもたち、食べる人がいるから売っているのだろうか ○マラウイ湖で風呂の代りに泳いだ ○ザリガニと思って買ったのはコウモリで鳥肉と同じ味だった 	8/8 8/16	MALAWI ざるを売っている明るい若いお母さ 

1 4 1	タンザニア TANZANIA ○道ばたの林にキリンが立っている。 「おーさすがアフリカだ」なー。 ○写真を撮っていたら国立公園の中では停まってはダメとドライバーに注意された ○意外と緑が多いのに自分のイメージとちと違った ○さわるとざらざら砂まじりの雨が降ってきた	2007 8/16 8/31	TANZANIA 象さんのズガイ骨 
1 4 2	ケニア KENYA ○テレビでは見ていたケニアに来た ○ケニアはサバンナの中にあるとイメージしていた、首都ナイロビは都市だった ○国立公園には目の前に動物がいる、いる！ ○自然はすごかった 	8/31 9/12	KENYA ケニアに入国した直後地元の人たち 
1 4 3	エチオピア ETHIOPIA ○ケニア～エチオピア間の道路が泥道と聞いてオートバイでは無理と判断 ○安い航空券があったのでエチオピアに飛行機で飛ぶ ○オリンピック、マラソン二連覇はだして優勝したアベベ選手に感動したのでお墓に花をさげた ○だれかに倒されていたが近いうちに修復するらしいと聞く ○雨ばかりでホテルの布団が重くなった ○コーヒがこんなにうまいとは思わなかった 泊まったホテルでコーヒ煎りたてを飲んでいた ↓ 	9/12 9/21	ETHIOPIA アベベ選手に感動を受けたのでお墓に行き花をささげる  

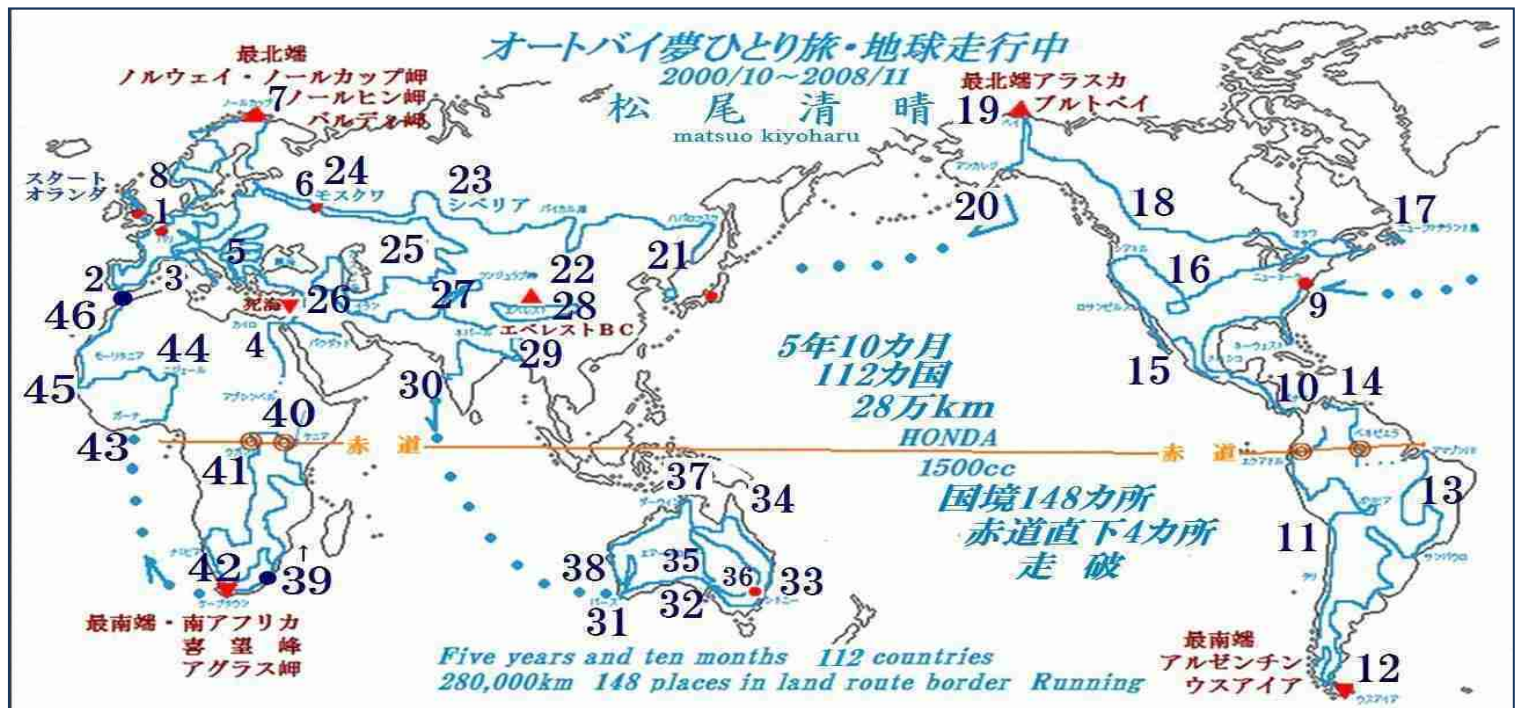
1 4 4	ケニア KENYA ○「ニューケニアロッジ」には日本人が入れ替わり泊まりに来る ○スタッフと日本語で冗談を飛ばして笑わせていた ○トイレは水の入ったやかんでお尻を洗う ○動物見学ツアー「一泊約1万円ぐらい？」 ナクル湖のフラミンゴ 	2007 9/21 10/3	KENYA 日本人が多く泊まる「ニューケニアロッジ」ドミトリー4人部屋・カヤをつつて寝る 
1 4 5	ウガンダ UGANDA ○ケニアから道の悪い山を越えてウガンダへ ○首都カンパラでホームスティさせてもらった ○ドライバーは譲らない「我」が強いと感じる ○オートバイで転んでいても通り過ぎる ○赤道直下でバケツ3個水の落ちる渦巻き実験 赤道直下をあらわすモニュメント  南半球は 左巻き  赤道直下では渦巻きなし  北半球は 右巻き 	10/3 10/10	UGANDA 赤道直下で暮らす人たち  ホームスティさせてもらったマークさ 
1 4 6	ルワンダ RWANDA ○食堂を案内してくれた青年に父母は1996年に亡くなったと話してくれた。その時殺害されたことに気づかなかった ○1996年に民族の争い80万人以上「つち族」の人が殺されたとか ○海外で5回目10月15日64歳の誕生日 ○道路はまず問題なし	10/10 10/16	RWANDA ルワンダにはいいばかり地元の人たち 

1 4 7	ブルンジ BURUNDI ○これから進む道は山道しかなくてお先真っ暗 ○タンガニーカ湖で貨物船を探して脱出 ○ブルンジ港を出ると右にコンゴ左にタンザニア 到着港はザンビア4つの国に囲まれたタンガニーカ湖 首都ブジュンブラ市内 	2007 10/16 10/27	BURUNDI 道がなくて船で脱出タンガニーカ湖二泊三日船上でテント生活  
1 4 8	タンザニア TANZANIA ○乗り継ぎの船はボートでオートバイを載せられない ○仕方なく走り始める山道で転んだらおしまい ○狭い割れた道に石もある山道を必死でザンビアの国境まで走る ○バックを落としたが拾って持ってきてくれた ○「唄ってよ」と日本語で言ったら国境で地元の子どもたちにタンザニアの歌を歌ってもらった こんな小さい港で下ろされて「エー」ザンビアに向かう 	10/27 10/28	TANZANIA マサイ族の人といっしょに  タンザニアとザンビア国境近くで暮らす人たち 
1 4 9	ザンビア ZAMBIA ○ザンビアの北から南まで走る ○ルサカで「チャチャチャ」というユースホテルに泊まる ○ビクトリアの滝はザンビア側は水量が少なくて国境こえてジンバブエ側に行く羽目になった ○道路は問題なし ザンビアで暮らす人た 	10/28 11/10	ZAMBIA タンザニアの国境係官がわざわざザンビアの国境までついて来てくれたので助かった地元の人は自由に国境を行ったり来たりしていた。（ザンビアの国境） 

1 5 0	ジンバブエ ZIMBABEE ○ビクトリアの滝を見にジンバブエ側国境でビザをとる ○経済的に行き詰まっているため「US\$」で入場料を払う ○マーケットの陳列に品物なし、毎日パンの行列が出来ていた ○道路は問題ない ビクトリアの滝に咲いていた彼岸花に似ている花を見つける 	2007 11/10 11/11	ZIMBABEE ビクトリアの滝 
1 5 1	ボツアナ BOTSWANA ○ジンバブエ、ザンビア、ナミビア、ボツワナ4カ国集まる国境をとる ○予定していたガスタン্ডに売り切れでガソリンなし ○次までそろそろ走りガス欠にならなくてすんだ ○象が突然道路を横断、ビックリ。一頭だけ戻ってきたのでいい記念写真が撮れた ○幹線道路は問題なし	11/11 11/18	BOTSWANA 4, 5頭道路を横断中、すぐカメラを出したが間に合わず。しかし一頭だけ戻ってきてくれたのでオートバイを入れた写真がとれてラッキー 
1 5 2	ナミビア NAMIBIA ○首都ウィンドフックは近代的都市 ○アフリカ北の方からボツワナあたりに来ると白人の人が目立つように感じる ○幹線道路は素晴らしい道 幹線道路からわき道に入るとジャリ道わたしのオートバイは無理  	11/18 11/29	NAMIBIA 幹線道路は素晴らしいナミビアの道   首都の町 ウィンドフック

1 5 3	南アフリカ SOUTH AFRICA ○とうとうあこがれの南アフリカ・ケープタウンについた ○ケープタウンの宿「ムース&キャッツ」に滞在 ○ケープタウンはヨーロッパとまったく同じ街 ↓ 	11/29 12/16	SOUTH AFRICA とうとう来たぞ！あこがれのテーブルマウンテンが見えてきた 
1 5 4	ナミビア NAMIBIA ○ナンビ砂漠はオートバイでは走れなかったので南アフリカ・ケープタウンからレンタカーで再び来る ○砂漠の中で1500年も生きるお化け植物 ベルベッチャーは気味が悪い 何の意味なのかわからない45？地点砂山に登る「ナンビ砂山」 	12/16 12/22	NAMIBIA 砂漠の中で1500年も生きると言われる昆布のようなお化け植物「ベルベッチャー」  熱い道ばたに咲く花 
1 5 5	南アフリカ SOUTH AFRICA ○喜望峰は最初行った場所が違っていたので1月1日に正式な場所に行く ○最南端アグラス岬には偶然にも日本人6人集まった Fさん夫婦、旅行者夫婦、Sさん 	2007 12/22 2008 1/16	SOUTH AFRICA 南アフリカあこがれの喜望峰につく 

1 5 6	レト LESOTO ○南アフリカ、ケープタウンから首都プレトリアまで ガーナのビザを取りに行った帰りに寄る ○山の多い国と聞いていたが市内に入ると山は 見えなくなった レト国境 	2007 1/16 1/18	LESOTO 首都マセル市内 
1 5 7	南アフリカ SOUTH AFRICA ○ガーナビザをとって三たび南アフリカに戻る ○ガーナ行ケニア経由安い航空券を買った ○2月28日ケープタウンよ,さようなら マラリアにかかった時の薬を用 意した 	1/18 1/28	SOUTH AFRICA ケープタウン・ロングストリート レストラン 



アフリカ Africa



スタート2007年6月20日

南アフリカ・ダーバン→スワジランド→モザンビーク→ジンバブエ→モザンビーク→マラウイ→タンザニア→ケニア→エチオピア→ケニア→ウガンダ→ルワンダ→ブルンジ→タンザニア→ザンビア→ジンバブエ→ボツワナ→ナミビア→南アフリカ・ケープタウン

西アフリカ

ガーナ・アクラ→トーゴ→ベナン→ニジェール→ブルキナファソ→マリ→セネガル→モーリタニア→西サハラ→モロッコ→スペイン・バルセロナ→日本 (2008年5月)

Start 2007/6/20 South Africa Durban→Swaziland→Mozambique→Zimbabwe→Mozambique→Malawi→Tanzania→Kenya→Ethiopia→Kenya→Uganda→Rwanda→Burundi→Tanzania→Zambia→Zimbabwe→Botswana→Namibia→→South Africa

Ghana→Togo→Benin→Niger→Burkina Faso→Mali→Senegal→Mauritania→Western Sahara→Morocco→Japan

158	ケニア空港 乗り継ぎ	KENYA	1/29	airport KENYA
159	ガーナ ○南アフリカ～ケニア経由でガーナにつく ○あそこにもここにも美容院の数が多いなー ○オートバイが到着するまでアクラ市内のホテルで過ごす ○ネット屋が意外と数が多くあった ○ガーナーチョコレートはなかった、どうして？ ○ホテルの人にオートバイがつく港までついて来てくれたので助かった 100年も前にひとりでガーナに来る時の心境を考えるとその「決断」はすごいと思う。 野口英世博士銅像（アクラ病院の敷地に立っている） 	GHANA 1/29 3/13	GHANA 「フウフ」とゆうもちに似たもの、うまかったので毎日食堂に行って食べていた   屈辱的な扱いを受けた奴隷制度、実際使われていた鎖（歴史博物館） 	
160	トーゴ ○海岸通りを走り続けて首都ロメにつく ○安ホテルは路地裏にあった、地元の人に誘導してもらったが転んでしまった ○ネットもあったが停電で使えない日が多かった ○幹線道路問題なしだけど路地裏は砂、砂	TOGO 2007 3/13 3/20	TOGO 路地裏に入ると砂の道、あっとゆう間に転んだ、ホテル前の道 	
161	ベニン ○ホテルまで地元の人に引っ張ってもらう ○安い部屋に泊まったが暑すぎる ○次の日冷房の部屋に移る ○市内にはネットもあったオートバイタクシーに乗って通った ○ホテル前は軒並み縫製の店が並んでいた	BENIN 3/20 3/24	BENIN 首都コトヌー市内 	

162

ニジュール

NIGER

- サハラ砂漠地帯に入ると家屋、緑のないサバンナが広がる
- ピンクみたいな黄砂が空を埋める
- トイレを借りに行った土の家は涼しかった
- 幹線道路は問題なし路地は砂地

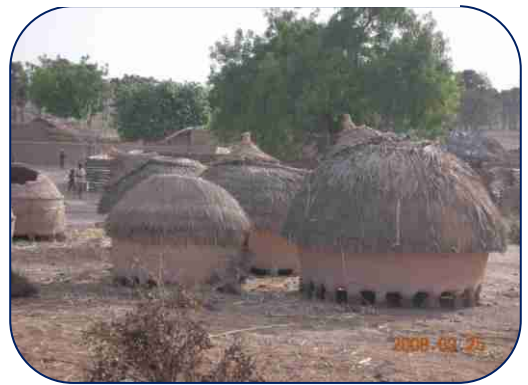
国境で小さい子供がオレンジを売りに来ていた、かわなくてごめんね（左）おしゃれなニジュール市内の女性。



3/24
3/30

NIGER

サハラ砂漠地帯に入ると家の作りがガラッと変わった



首都ニアメ・モニュメント



163

ブルキナファソ

BURKINA FASO

2007
3/30
4/4

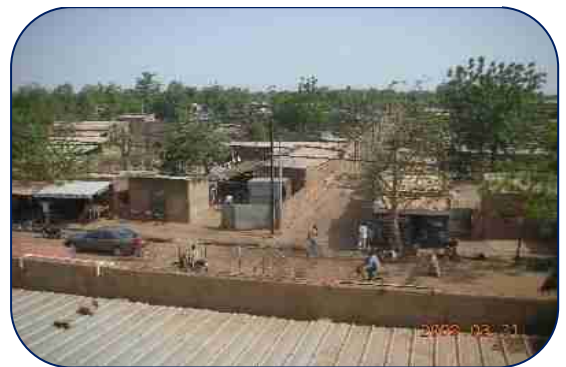
- 安ホテルは混み行った狭いところだった
- 段差のある道にオートバイにまたがったまま動かそうとして転倒
- イヤとゆうほど腹と右手を打った、あやうくオートバイの下敷きになるところだった

ブルキナファソで暮らす人



BURKINA FASO

首都・ホテルからワガトーク市内



ブルキナファソの幹線道路



○土の丸い家から四角の家が変わってきた
○自転車に山のごとく積み込んで引っ張っていた
○トラックが道路脇に停めて修理しているのが目につく

バスの上にヤギを積み込む



砂漠の中に流れる豊かな
水量のニジェール川



マリの国境事務所



○出発しようとしたらパンクしていた
○チュープレスタイヤはなかった、普通のタイヤと交換
○ホテルを出て200kmはでこぼこ道、バウンドして腹が使えて転倒、スタンドが壊れてしまった
○もうオートバイの旅はおしまいかと思った
○少し走った所の溶接屋でスタンドを直す
○路肩から落ちたトラック2台もひっくり返っていた
○タイヤ交換していてよかった、こんなところでパンクしていたらおわりだった
○国境事務所は道路の真ん中にあるがマリ側もセネガル側奥まったところにあった

おしゃれの国セネガルあでやかな女性はさっそうと歩く



これは2回目の転倒。後ろから来た自動車に手伝って起こしたが3回目はスタンドがとれてしまった。



小さい村にも溶接屋がありスタンドを直してもらい、たすかった



モーリタニア MAURITANIA
 ○ニジェール川が国境。船でモーリタニアへ
 ○風よ吹かないでくれーと祈る思い
 ○首都ヌアークショットホテルでビール一本なんと
 1200円今までで最高の値段
 ○幹線道路問題なし、しかしまわりは深い砂

モーリタニアで暮らす人び



風よ吹かないでくれー



4/18
4/22

MAURITANIA

砂漠の中でラクダと暮らす人た



モーリタニア・首都ヌアークショ
ットに向かう



西サハラ WESTERN SAHARA

○太陽が出るとものすごい風になる
 ○ヘルメットの中にも砂が入り眼にも入る
 ○首ふり人形のような頭が左右に振られる
 ○強風で道が消えてなくなりこわかった
 ○トラックをチャーターして運こぼうとしたがだめだ
 った
 ○砂嵐に「死ぬぞー」きょうだけ生きようと必死で
 走った。こわかった。
 ○死ぬことはこんなにおそろしいのかと思った。

モーリタニアと西サハラ緩衝地帯は砂漠で
 道がわからなくなりトラックが来るのを待



2008
4/22
4/26

WESTERN SAHARA

砂嵐で道が消えてなくなり
 死ぬのかとこわかったー



モーリタニアと西サハラとの国境



168	モロッコ MOROCCO ○青空が見えてきた、今まで黄砂の空ばかり見てきたがめずらしい青空が見えてきた ○風は強いが緑が出てきた ○2000km10日間走ってきた ○あー生きて帰れたぞー ○打ちひしがれてしまったのでうれしさはない ○オートバイを高圧水で洗車してねぎらった ○ガススタンドのお兄さんがわざわざオートバイで案内くれたホテルへ ○ホテルの隣のレストランでビールで乾杯 ○これからオートバイを日本に送る ○ここの海運業者二軒とも日本に送れないことが分かる ○スペインから送ることにした ○風さえ吹かなければ道路問題なし カサブランカ市内についた。2000年 	4/26 4/30	MOROCCO あー生きて帰れたー。カサブランカホテル前 しかし「うれしさは」なし  フェリー船でモロッコからスペインに向かう。両眼を砂嵐でやられて見えにくくなってしまった。約一年走ったアフリカの旅が終わった 
169	スペイン SPAIN ○最後はバルセロナまで走りようやくオートバイを日本に送ることが出来た。つかれたー	2008 4/30 5/11	SPAIN The motorcycle is sent from Barcelona to Japan.
170	スイス チュリヒ SWITZERLAND ○バルセロナからスイス経由タイへ	5/11	SWITZERLAND From Barcelona to Thailand by way of Switzerland
171	タイ THAILAND ○格安空港券を買うためと休養するため	5/11	THAILAND The cheap airport ticket is bought. To take a rest
172	カンボジア CAMBODIA ○タイからカンボジア・アンコールワット行きのバス代往復5000円ぐらいと考えられない「安さ」に飛びついた	5/18 5/21	CAMBODIA It is cheapness from Thailand for bus about 5000 yen (50\$) for Cambodia Angkor Wat.
173	タイ THAILAND ○アンコールワットから戻る ○日本に帰るチケットベトナム経由が安かった	5/21 5/25	THAILAND It returns from Angkor Wat. The ticket Vietnam passing where it returned to Japan was cheap.
174	ベトナム VIETNAM ○時間があつたので市内観光に出る	5/25	VIETNAM It goes out to the sightseeing tour of the city because there was time.
175	日本一時帰国 JAPAN 相模のコンさんが成田空港まで出迎えに来てくれた。ありがとうございます 	5/26 11/5	JAPAN Temporary return すぐに両目の白内障を手術した。メガネかけなくても新聞を読めるようになった。

韓国 SOUTH KOREA

○下関からフェリーで韓国に渡る
 ○時計と逆回りで韓国を一周
 ○韓国出身日本在住のYさん紹介でソウルではオートバイ仲間がキャンプに誘ってくれた
 ○ロッジの小屋で10人ぐらの仲間と飲んで皆さんにはお世話になった
 ○釜山で一回り、ここは活気があったべものが安くてうまかった
 ○韓国は2, 3人で行かないとひとりでは量が多すぎる
 くわしくはHP・ブログに載せています
<http://baikunomatsuo.sakura.ne.jp>→HP
<http://blog.goo.ne.jp/bikenomatsuo>→ブログ

見るだけでもたのしかった
 釜山の魚市場、毎日ぐるぐる

11/5
11/22

SOUTH KOREA

韓国と北朝鮮との軍事境界線・ここで行き止り。警備隊の人が写真を撮ってくれた



韓国のオートバイ仲間はキャンプに連れて行ってもらった。ソウル・オートバイ仲間たち。お世話になりました。



NOUTH KOREA

北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)

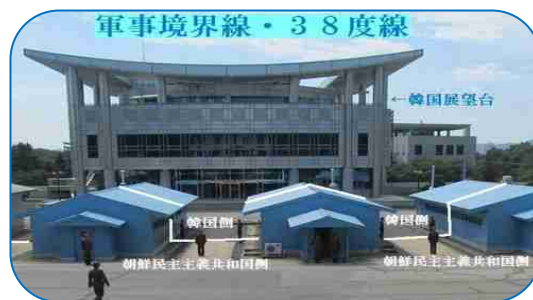
いったいどうなってんだろうか北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)自分の目で確かめるためツアーに参加した。日本での報道では「飢餓に苦しむ」「北朝鮮」のイメージ。しかし空港税関写真などの撮影も「OK」規制もゆるくて、ビックリ驚いたのは外国人の旅行者が多かったこと。くわしくはHP・ブログに載せています。

動画もあります。よかったらみてください。
<http://baikunomatsuo.sakura.ne.jp>→HP
<http://blog.goo.ne.jp/bikenomatsuo>→ブログ
 ピョンヤン(平壤)空港

2011
8/22
8/27

NOUTH KOREA

ブルーの平屋3棟が38度線・板門店(軍事境界線)の部屋も撮影OKだった



北朝鮮・ピョンヤン市内



177	日本一時帰国 これまで 5年10ヵ月 112ヵ国訪 28万km 陸路国境越え148ヵ所 オートバイ 1500cc 赤道直下4ヵ所 走破	JAPAN	2011 8/27	JAPAN Temporary return Former 5 years, 10months 112 countries 280,000 km 148 overland route border Motorcycle 1500cc Directly under [equatorial / four] It runs the whole distance. Solitary journey
-----	---	-------	--------------	---